

消防試験研究センターだより vol.361

Voice...7

2017



top

炎の津波から命を守るのも“てんでんこ”？

こだま

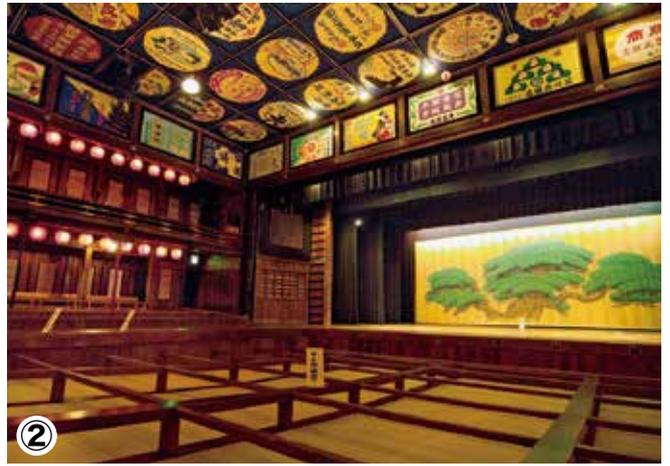
奈良県立王寺工業高等学校における資格取得及び危険物取扱者試験の現状

支部の広場

熊本県支部からお届け



①



②



③



④



表紙によせて

山鹿灯籠まつり / 表紙上段

毎年8月の旧盆の時期に「山鹿灯籠まつり」が開催され、千人灯籠踊りが催されます。頭に金灯籠をのせた浴衣姿の女性たちが「よへほ節」の調べにのってゆったりと優雅に踊る姿は、幻想的で息をのむ美しさです。第12代景行天皇の御巡幸のおり、菊池川で深い霧に行く手を遮られ、それを山鹿の里人たちが松明を掲げて道を示し、天皇を無事お迎えしたのが起源と言われています。この金灯籠は和紙と糊だけで作られており、灯籠師の高度な技術と熟練による伝統工芸品です。

イルカウォッチング / 表紙下段

天草の海には多くの野生のイルカが生息しており、特に天草市五和町の沖に浮かぶ通詞島周辺は年間を通じてイルカを見ることができます。この付近では約200頭のミナミハンドウイルカが生息し、イルカに遭遇する確率は90%以上と言われています。ウォッチング船がイルカの群れに囲まれることもあります。

①三池炭鉱万田坑

明治30年から当時の三井炭鉱が荒尾市に整備した国内最大規模の竖坑です。大正から昭和初期にかけては年間60～80万トンの石炭を出炭しましたが、昭和26年に採炭中止となりました。現在でも第二竖坑・ヤグラ、倉庫、事務所などが保存され、当時の優れた炭鉱技術を伝えています。平成27年に「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録されました。

②八千代座

明治43年に山鹿の実業家たちが株を募って建てた芝居小屋です。江戸時代の建築様式の粋を集めた造作ですが、ドイツ製のレールを使った廻り舞台など当時の最新の機能が取り入れられています。昭和になってテレビの普及等により閉館し廃屋同然になっていましたが、30年を超える復興活動により修復され国の重要文化財にも指定されました。1年を通じて歌舞伎、落語、コンサートなど多彩な催しが行われ、現代の芝居小屋としてよみがえっています。

③うたせ船

うたせ網漁業をおこなう漁船で、大きな4本のマストと前後に突き出した2本の竿に大小9枚の帆をはり、風と潮の流れに身をまかせて不知火海を滑走します。漁法は、袋状の7つの網で海底のエビ、カニなどの魚介類を引き上げる伝統的底引き網漁です。紺碧の海に真っ白な帆を張る姿は、海の貴婦人とも言われています。近年は観光船としても出漁しており、船内で漁師料理が楽しめます。

④阿蘇の雲海

世界最大級の阿蘇カルデラを形成する外輪山の北側に位置する大観峰からは、眼下に広がるカルデラ台地の阿蘇谷、仏の涅槃像にも例えられる阿蘇五岳や九重連山を眺めることができます。特にカルデラ台地を雲が覆い尽くす雲海はとてダイナミックな眺めです。雲海は、春と秋の日中の寒暖差が大きく風が穏やかな朝に発生しやすいそうです。阿蘇方面は迂回路を利用して観光できます。

002

top

炎の津波から命を守るのも“てんでんこ”？

明治大学特任教授・首都大学東京名誉教授

中林 一樹

004

こだま

奈良県立王寺工業高等学校における資格取得及び危険物取扱者試験の現状

006

業務情報

平成28年度事業報告及び決算

平成28年度の試験実施結果について

平成28年度の免状作成等の状況について

026

支部の広場

熊本県支部からお届け

028

topic

年中行事と旧暦の話(その10)

山下 茂

明治大学 公共政策大学院ガバナンス研究科 教授

元自治省(現・総務省)消防大学校長

合格体験記

032

消防庁の通知・通達等

034

業務報告

4・5月の試験実施結果・免状作成状況

7 Voice...

消防試験研究センターだより

2017 July vol.361



15メートルもの高さで横に広がり、風下に燃え進んでいく。その様は“炎の津波”ともいうべきものである。その炎の津波が幾重にもなる。

4 海の津波と炎の津波

海の津波は、海から陸に向かって海水が遡るように流れ込んで来る。東日本大震災では最大流速は秒速6m(時速22km)に達した。人々は、ともかく高台に向かって避難をすることになるが、津波の速さは若い人が全力で走る速さと同じ速度であったから、津波を見てからの避難では逃げ遅れが発生してしまった。

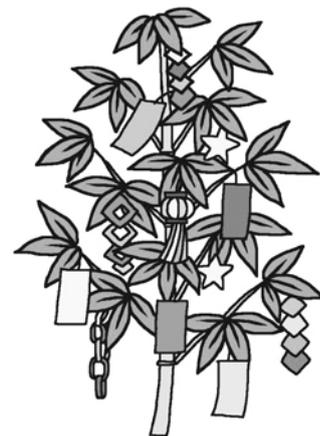
炎の津波は、風速によるが延焼速度としては強風下でも時速100~200メートルであろう。飛び火が多発すれば延焼速度はもっと早くなるが、同時多発火災でなければ、火を見てからでも避難ができる延焼速度である。煙が来る風下ではなく側面に出てから風上に向かって、徒歩で避難できる延焼速度である。

ところが都心南部直下地震時の地震火災は、発災後15分で480もの地点で炎上火災が同時多発するのである。それらが延焼拡大するだけでなく、断続的に炎上火災が増えていくのである。火災が発生していないと思われた地点に向って避難していたのにも拘らず、突然、その先に火災が発生してしまうことが起こりうるのである。木造密集市街地では、地震火災時には「安全な風上」というものはない。ひとつの出火点の風上は、隣接の出火点の風下なのである。最初の揺れから15分後に、480の炎上火災が6,800ヘクタールの木造密集市街地を中心に発生する。それは25ヘクタール(500メートル四方約3,750世帯)に1件の炎上火災が発生するという計算になる。阪神・淡路大震災では、全壊率約25%に達した神戸市灘区や長田区では、発災から1時間15分の間に、10万世帯あたり25件の炎上火災が発生していたという。それは4,000世帯に1件の炎上火災の発生という状況であった。都心南部直下地震の被害想定状況は、まさにそのような状況なのである。

東京区部1,000万人の人々が、都市火災に直面し広域避難する。東京区部では、東京都が指定している避難場所(197ヶ所)に、地域でまとまって区界を越えて広域避難する。そのために、一時避難場所に集まって、避難行動要支援者の支援体制を整え、指定された避難場所に広域避難をすることになっている。来街者も、居住者と一緒に指定された区域避難場所に広域避難をするのである。

5 炎の津波からの避難も“てんでんこ”か

炎の津波からの避難は、東京都では地域ごとに指定された避難場所に地域ぐるみで避難することになっている。それは最寄りの避難場所へわれ先に避難する“てんでんこ”ではない。しかも避難する先は地域ごとに指定されている。てんでんこでは避難できなくなってしまう可能性があるのが巨大都市の地震火災からの避難問題である。南海トラフ地震の被害想定(2013)では、大阪や名古屋などの大都市を中心に75万棟の焼失と公表されている。高齢社会であるが、今は日進月歩の情報社会。一人も焼死させない避難システムを構築することは、現代における最大の、かつ喫緊の課題である。





奈良県立王寺工業高等学校における

資格取得及び危険物取扱者試験の現状

今村 文宣 (いまむら ふみのり)
奈良県立王寺工業高等学校
電気工学科 教諭

1. はじめに

本校は昭和37年に機械科、電気科、電子科、化学工学科の4科で開校され、平成25年度より機械工学科、電気工学科、情報電子工学科に科名変更し、先端技術を学ぶ専門高校として再編されました。

本校は「ものづくり人間大集合」を合い言葉に工業技術で社会に貢献できる産業人の育成を目指しています。生徒はその社会的使命を自覚して日々充実した学校生活を送っています。授業や実習、資格取得に真剣に取り組む一方、部活動にも熱心に頑張っています。

生徒と先生方が力を合わせて高い目標を実現しようとしているため、生徒の意欲も高く、生き生きとしています。

また、礼儀正しく大きな声で挨拶しあう光景がいたるところで見られます。本校では、就職希望者は毎年100%就職を達成し、うち過半数以上が一部上場企業です。また、国公立大学や工業高等専門学校などへの進学者も年々増加しています。

2. 資格試験への取り組み

本校では、1年生の時から、合格しやすい全国工業高等学校長協会主催の検定にチャレンジし、国家資格の足掛かりにしています。機械工学科では技能検定、各種技能講習、電気工学科では電気工事士、電気主任技術者、工事担任者、情報電子工学科ではITパスポート試験、基本情報技術者試験などの資格取得をめざし、放課後や土、日曜日なども使って勉強に取り組んでいます。

3. 危険物取扱者への取り組み

本校では、7月、11月、3月に学校で危険物取扱者試験を行っています。生徒の関心も高く、毎回多くの生徒が受験しております。また、乙種全類取得や甲種の合格をめざし、学校で行われる試験だけではなく、奈良県や大阪府で行わ

れる試験にも個人でも受験しに行っています。

危険物取扱者合格への取り組みは、放課後の補習はもちろん、朝夕のSHRで小テストを実施したりしています。また、意欲の高い生徒は部活動の練習後に自主学習をしたり、土、日曜日に学校に登校し学習している生徒も多くいます。今後は学習形態や授業なども工夫を重ね、乙種全類取得数や甲種の合格数アップを目指しています。

4. 電子申請

本校では、危険物取扱者の受験を電子申請で申し込んでいます。できるだけ生徒や保護者の申請時の手間を減らし、受験しやすくすることで、生徒の受験機会を増やすことを目的として始めました。平成24年から初めて、今年で5年目になります。最初は準備等に時間がかかって大変でしたが、現在は電子申請の流れが確立されているので非常にスムーズに申請が可能になりました。下記の表に電子申請をしてよかった所と大変だったことを示します。

よかった所	大変だったこと
生徒に願書を書かせなくてよい	担当者の負担がとて大きい
願書を持っていかなくてよい	申請用の名簿を作る必要がある
申請にかかる時間が少ない	名簿データの変換が手間
受験票を忘れても印刷できる	必要項目のデータ収集が難しい
お金だけを回収すればよい	入力ミスの訂正が手間
受験者、種類を把握しやすい	入金を分割しないといけない
提出ミスがない	締め切りが早い

電子申請を実施してきて、とにかく担当者の負担が大きくなりました。名簿の作成や免状の番号、本籍地のデータ収集など手間のかかることを多くしなければなりません。しかし、他の教員や生徒、保護者の負担は大きく減少したといえます。



本校での申請の流れは次の通りです。

- ①各クラスの申し込みは担任がファイルに入力する。
クラスごとに入力ファイルがあるので、誰が何の種類を受験するかをエクセルファイルに入力する。
- ②入力すると自動的に申請用のデータが出てくるようにエクセルに関数が組まれているので、それを申請用ファイルにコピーする。

実際、5年の歳月をかけてこの形に持って行けましたが、担当者は多くの苦勞をしてきました。一番大変だったのが、学校に元々存在する生徒のデータファイルから電子申請用のデータへの変換ファイルの製作でした。本籍地から本籍番号入りのデータへの変換、住所の分割、全角半角の変換、文字制限の対応など多くの作業を行いました。一つ一つの変換は、手間はかかりますが、構築するのは容易なことでありました。一番構築が難しかったのは、複数受験者の同

時に受験する類の自動化でした。2種類と3種類の同時受験で関数を条件分けさせたり、一括して変換させたりと、同時に行わなければならないことがあり苦勞しました。

現在では担任の先生が入力すればほとんどのことが自動化されていますので、担当者が電子申請に要する時間は大幅に削減されました。しかし、最終的には担当者任せの部分もまだ多くあるので、クラスごとに申請ファイルを作ってもらえるようになれば、担当者は入金と年度当初のファイルの準備、少しの事務作業で済むようになると考えられます。また、担当者が転勤しても少しの引継ぎで電子申請が継続できるものと考えます。

多くの苦勞はありましたが、電子申請自体は生徒の危険物の受験意欲を持たせるのには非常に有効な制度だと考えています。

危険物取扱者願書									
3EA			担任		受験日 7月 20日				
					受験地コード 552				
					団体コード 004				
					以上ご確認ください				
					係記入欄				
番号	氏名	丙	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	甲
1									
2									
3									
4									
5						1			
6									1
7									
8				1		1		1	
9									
10									
11									
12									
13									
14							1		
15									
16									
17									
18									
19			1						
20									
21									
22									
23							1		
24									
25									
26									
27							1		
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
			1	0	1	4	1	0	1
丙種	2700	×	1	名 =	2700	円			
乙種	3400	×	7	名 =	23800	円			
甲種	5000	×	1	名 =	5000	円			
合計					31500	円			

この枠の受験する種類のセルに1を入力してください。

願書締め切り 6月9日 厳守ください。

事業報告書

第1 概況

1 受験者確保対策の推進

試験事業の根幹をなす危険物取扱者試験の受験申請者数は、近年、減少傾向が続いていることから、有識者等による受験者確保に関する検討委員会報告を踏まえ、工業高校を対象に担当教諭との会議を実施し、理工系大学ではポスター及び大学生向けパンフレットによる広報を行うとともに、自衛隊に対しては防衛省を通じて特定試験の働き掛けを行うなど、19支部で「受験しやすい環境づくりモデル事業」を実施した。

なお、平成29年度以降も引き続きモデル事業を実施し、今後、全ての支部で受験者確保対策を推進する。

2 試験事業の状況

危険物取扱者試験の受験申請者数は、平成21年度から連続して減少となった。これは、少子化、特に高校生の減少やエネルギー需要等の社会情勢の変化に伴う危険物施設の減少などの影響によるものと推測される。消防設備士試験の受験申請者数は、やや増加した。これは、資格を必要とする社会情勢等によるものと推測される。予防技術検定の受検申請者数は増加した。これは、各消防本部において、予防技術資格者のうち、勤続年数が長い職員が退職することに伴い、資格者の充足率の低下が見込まれることから、資格者確保に向けて受検者を増加させていることによるものと推測される。

危険物取扱者試験の受験申請者数は43万1千339人で、前年度（44万1千906人）から1万567人減少（減少率2.4%）し、消防設備士試験の受験申請者数は10万8千284人で、前年度（10万7千804人）から480人増加（増加率0.4%）した。

危険物取扱者試験と消防設備士試験の受験申請者の合計は53万9千623人で、前年度（54万9千710人）から1万87人減少（減少率1.8%）した。

予防技術検定の受検申請者数は8千333人で、前年度（7千858人）から475人増加（増加率6.0%）した。

3 免状事業の状況

免状業務については、全ての都道府県と受託契約して、免状作成等の事務を行うとともに、38都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行った。

免状作成等の処理件数は、新規免状の作成、免状の書換え（写真書換えを含む）、再交付免状の作成を含めて、危険物取扱者は25万8千59件で、前年度（26万5千757件）から7千698件減少（減少率2.9%）し、消防設備士は4万365件で、前年度（4万1千11件）から646件減少（減少率1.6%）した。危険物取扱者と消防設備士の免状作成等の処理件数の合計は、29万8千424件で前年度（30万6千768件）から8千344件減少（減少率2.7%）した。

第2 個別的事業

1 試験事業

(1) 危険物取扱者試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数 (単位：回)

	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
当年度	297	383	385	387	739	398	399	2,691	420	3,408
前年度比	15	9	17	3	30	13	9	81	21	117

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	431,339	388,505	145,016	37.3%
前年度比	△ 10,567	△ 12,591	△ 7,095	△ 0.6

業務情報

平成28年度 事業報告及び 決算

(2) 消防設備士試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数

① 甲種 (単位：回)

	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	合計
当年度	101	124	110	113	134	110	692
前年度比	3	4	2	3	6	2	20

② 乙種 (単位：回)

	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	合計
当年度	113	101	103	132	107	137	123	816
前年度比	4	1	3	6	4	3	7	28

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	108,284	84,337	29,117	34.5%
前年度比	480	△ 511	1,601	2.1

(3) 試験実施回数、受験申請者数、受験者数及び合格者数等の合計は、次のとおりであった。

	試験実施回数(回)	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率	
危険物取扱者	当年度	3,408	431,339	388,505	145,016	37.3%
	前年度比	117	△ 10,567	△ 12,591	△ 7,095	△ 0.6
消防設備士	当年度	1,508	108,284	84,337	29,117	34.5%
	前年度比	48	480	△ 511	1,601	2.1
合計	当年度	4,916	539,623	472,842	174,133	
	前年度比	165	△ 10,087	△ 13,102	△ 5,494	

(4) 予防技術検定を全都道府県で、次のとおり実施した。

平成28年度 (第12回目)

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率	
防火査察	当年度	4,798	4,499	2,659	59.1%
	前年度比	443	435	1,247	24.4
消防用設備等	当年度	1,983	1,863	1,024	55.0%
	前年度比	73	84	398	19.8
危険物	当年度	1,552	1,451	873	60.2%
	前年度比	△ 41	△ 34	85	7.1
合計	当年度	8,333	7,813	4,556	58.3%
	前年度比	475	485	1,730	19.7

(5) 電子申請者数は、次のとおりであった。

	電子申請者数(人)	受験申請者数(人)	電子申請率	
危険物取扱者	当年度	117,007	431,339	27.1%
	前年度	111,452	441,906	25.2%
	前年度比	5,555	△ 10,567	1.9
消防設備士	当年度	34,129	108,284	31.5%
	前年度	32,779	107,804	30.4%
	前年度比	1,350	480	1.1
合計	当年度	151,136	539,623	28.0%
	前年度	144,231	549,710	26.2%
	前年度比	6,905	△ 10,087	1.8

- (6) 過去に出題した試験問題の公開について、平成28年5月24日に「試験問題の公開に係る検討委員会」において審議し、平成28年6月23日から、ホームページ上で公開している過去の出題問題の追加・更新を行った。

この結果、平成28年度末現在、危険物取扱者試験については150問、消防設備士試験については69問をホームページ上で公開している。

- (7) 支部試験実施状況調査を、10支部において実施した。

(調査実施支部)

新潟県、山口県、群馬県、岩手県、宮崎県、広島県、愛知県、福井県、滋賀県、沖縄県

2 免状事業

- (1) 免状作成業務等の受託については、全ての都道府県と受託契約し、新規免状の作成、免状の書換え及び再交付免状の作成を行うとともに、免状データベースに登録した。

ア 免状作成等の処理状況

(単位：件)

		新規交付	書換え		再交付	合計
			写真	写真以外		
危険物取扱者	当年度	142,716	102,883	1,729	10,731	258,059
	前年度比	△ 5,250	△ 1,675	3	△ 776	△ 7,698
消防設備士	当年度	27,552	11,517	263	1,033	40,365
	前年度比	82	△ 800	54	18	△ 646
合計	当年度	170,268	114,400	1,992	11,764	298,424
	前年度比	△ 5,168	△ 2,475	57	△ 758	△ 8,344

イ 免状データベースの登録件数の累計は、次のとおりとなった。

	登録件数の累計(件)
危険物取扱者	7,486,886
消防設備士	949,082
合計	8,435,968

- (2) 38都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行い、9万2千132人に通知(危険物取扱者 8万5千332人、消防設備士 6千800人)した。

うち2万1千371人(23.2%)が写真書換えを申請した。

(受託都道府県)

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、滋賀県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- (3) 全都道府県との覚書により、免状データベースへの講習履歴の収録を、次のとおり行った。

	講習履歴の収録件数(件)
危険物取扱者	200,428
消防設備士	53,299
合計	253,727

3 調査研究事業

(1) 調査研究事業を、次のとおり行った。

ア 危険物取扱者の資格取得支援に関する調査研究

平成27年度に実施した調査研究事業「危険物取扱有資格者の将来における需要動向等に関する調査分析」において、最近の危険物取扱者試験の受験申請者数の遞減傾向は、工業高校等の高校生の受験者動向に大きく左右されることが明らかとなった。

このことから、平成28年度は、高校生に対する資格指導の実態を調査し、受験意欲の向上方策を取りまとめるとともに、生徒指導を行う教諭に対して、受験指導対策の講習を行うなど、資格取得支援方策の試行を行なった。

イ 危険物取扱者試験の効果的な広報・PR手法に関する調査研究

広報・PRで大きな成果を挙げている他の資格試験実施団体及び企業等について事例調査・分析を行うことにより、近年、受験申請数の遞減傾向にある危険物取扱者試験について、受験者の増加に寄与する効果的な広報・PR手法の検討を行ない、基礎資料として取りまとめた。

(2) 受験しやすい環境づくりモデル事業を、19支部において実施した。

モデル事業内容	実施支部
工業高校	宮城県、埼玉県、愛知県、兵庫県、広島県、福岡県、沖縄県
理工系大学	中央試験センター、大阪府
自衛隊	北海道、青森県、京都府、佐賀県
消防団	岩手県、滋賀県、岡山県
事業所	千葉県、静岡県、三重県
試験実施時期の調整	京都府、大阪府、兵庫県

(3) 広報活動を、次のとおり行った。

ア 新規に広報先を絞った大学生及び高校生向けパンフレットを作成するとともに、試験及び電子申請の広報用並びに写真書換え制度のポスター等を作成して、受験者の確保並びに電子申請、写真書換え制度の周知を図った。

(作成数量)

- ① 資格取得広報ポスター 19,000枚
- ② 資格取得広報パンフレット 110,000部
- ③ 試験実施日程パンフレット 66,000部
- ④ 大学生向け危険物取扱者試験広報パンフレット 16,000部
- ⑤ 高校生向け危険物取扱者試験広報パンフレット 61,000部
- ⑥ 電子申請利用促進広報リーフレット 76,000枚
- ⑦ 写真書換え促進広報ポスター 14,000枚
- ⑧ 写真書換え促進広報リーフレット 98,000枚

(配布先)

都道府県、消防機関、消防関係団体、学校連絡会、報道関係各社等

イ 広報誌「消防試験研究センターだよりVoice.」を、次のとおり発行し配布した。

(作成数量) 隔月 3,000部

(配布先) 都道府県、消防機関、消防関係団体、学校連絡会、報道関係各社等

ウ 受験者確保対策として、新規の広報媒体「危険物取扱者及び消防設備士紹介ビデオ」を作成し、広報活動の推進を図った。

(作成数量) DVD 200枚

エ 消防関係の専門誌等を活用して広報活動を行った。

(4) 「平成27年度危険物取扱者試験、消防設備士試験・免状統計表」を、次のとおり作成し、配布した。

(作成数量) 320部
(配布先) 消防庁、都道府県

(5) 役職員による個人情報の厳格な管理、利用の安全性の確保について徹底するとともに、受験者情報を扱うデータエントリ-委託業者に対する厳正な管理・監督の徹底を図った。

4 その他事業

(1) 業務監査を、16支部において実施するとともに、公認会計士による外部監査を、3支部において実施した。

(業務監査実施支部)

秋田県、山形県、栃木県、埼玉県、富山県、石川県、岐阜県、静岡県、京都府、奈良県、鳥取県、島根県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県

(外部監査実施支部)

茨城県、岡山県、鹿児島県

(2) 試験業務及び免状業務の円滑な執行を図るため、全国支部長会議を1回、ブロック幹事支部長会議を1回それぞれ東京で開催するとともに、都道府県消防主管課の出席を得て、全国6ヶ所でブロック支部長会議を開催し、業務説明と意見交換を行った。

(ブロック支部長会議開催地)

ブロック名	開催地	開催日
北海道・東北	青森県	平成28年9月15日
関東・甲信越	栃木県	平成28年10月6日
中部	富山県	平成28年10月11日
近畿	大阪府	平成28年11月9日
中国・四国	山口県	平成28年9月29日
九州	沖縄県	平成28年10月13日

(3) 消防防災推進事業助成を、76事業に対して行った。

(4) 関係官庁、関係機関及び諸団体との連絡調整を行った。

第3 評議員会及び理事会の開催に関する事項

1 評議員会

第10回評議員会（平成28年6月24日（金）開催）

理事の選任

南部浩一氏

平成27年度事業報告の報告及び平成27年度決算の承認

公益目的支出計画実施報告書の報告

2 理事会

(1) 第16回理事会（平成28年6月8日（水）開催）

理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告

平成27年度事業報告の承認及び平成27年度決算の決定

公益目的支出計画実施報告書の承認

評議員会招集の決定

- (2) 第17回理事会（平成29年3月14日（火）開催）
理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告
平成29年度事業計画及び平成29年度収支予算の承認

附属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28年度決算書

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	462,861,460	880,598,160	△ 417,736,700
未収金	69,577,865	68,806,123	771,742
前払金	19,902,583	23,123,058	△ 3,220,475
貯蔵品	17,254,782	14,321,592	2,933,190
立替金	0	1,600	△ 1,600
流動資産合計	569,596,690	986,850,533	△ 417,253,843
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	1,108,014,042	708,406,042	399,608,000
定期預金	200,000,000	200,000,000	0
投資有価証券	1,721,985,958	2,121,593,958	△ 399,608,000
基本財産合計	3,030,000,000	3,030,000,000	0
(2) 特定資産			
役員退職慰勞引当資産	14,648,600	8,587,200	6,061,400
退職給付引当資産	320,390,846	305,274,125	15,116,721
減価償却引当資産	388,216,299	258,676,244	129,540,055
特定資産合計	723,255,745	572,537,569	150,718,176
(3) その他固定資産			
建物附属設備	5,087,073	8,917,149	△ 3,830,076
什器備品	136,169,110	183,153,049	△ 46,983,939
リース資産	0	979,650	△ 979,650
ソフトウェア	210,127,624	289,762,845	△ 79,635,221
電話加入権	168,000	168,000	0
敷金	23,090,304	22,255,044	835,260
保証金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	374,672,111	505,265,737	△ 130,593,626
固定資産合計	4,127,927,856	4,107,803,306	20,124,550
資産合計	4,697,524,546	5,094,653,839	△ 397,129,293
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	49,620,212	30,355,767	19,264,445
前受金	22,454,367	12,685,601	9,768,766
預り金	22,725,143	22,572,297	152,846
リース債務	0	1,142,925	△ 1,142,925
特別手当引当金	62,424,662	52,779,263	9,645,399
流動負債合計	157,224,384	119,535,853	37,688,531
2 固定負債			
役員退職慰勞引当金	14,648,600	8,587,200	6,061,400
退職給付引当金	320,390,846	305,274,125	15,116,721
固定負債合計	335,039,446	313,861,325	21,178,121
負債合計	492,263,830	433,397,178	58,866,652
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産合計	128,500,000	128,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(128,500,000)	(128,500,000)	(0)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	4,076,760,716	4,532,756,661	△ 455,995,945
(うち特定資産への充当額)	(2,901,500,000)	(2,901,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(388,216,299)	(258,676,244)	(129,540,055)
正味財産合計	4,205,260,716	4,661,256,661	△ 455,995,945
負債及び正味財産合計	4,697,524,546	5,094,653,839	△ 397,129,293

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	16,125,622	30,495,331	△ 14,369,709
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	28,000	0	28,000
③ 受取試験手数料	1,975,308,800	2,000,172,200	△ 24,863,400
危険物取扱者試験手数料	1,475,481,400	1,507,642,400	△ 32,161,000
消防設備士試験手数料	458,162,400	453,134,800	5,027,600
予防技術検定手数料	41,665,000	39,395,000	2,270,000
④ 受取免状受託料	489,146,545	500,170,546	△ 11,024,001
危険物取扱者免状受託料	411,937,816	423,202,775	△ 11,264,959
消防設備士免状受託料	68,176,445	68,261,105	△ 84,660
写真書換促進業務受託料	9,032,284	8,706,666	325,618
⑤ 雑収益	2,102,153	1,722,376	379,777
受取利息	21,742	451,507	△ 429,765
証紙等手数料	293,665	336,372	△ 42,707
免状交付等手数料徴収事務受託料	889,137	889,137	0
雑収益	897,609	45,360	852,249
経常収益計	2,482,711,120	2,532,560,453	△ 49,849,333
(2) 経常費用			
① 事業費	2,840,852,486	2,785,554,442	55,298,044
役員報酬	23,183,173	22,917,821	265,352
給料手当	1,019,370,279	991,929,168	27,441,111
法定福利費	160,919,547	150,589,131	10,330,416
福利厚生費	24,338,089	24,133,196	204,893
試験監督員賃金	228,487,851	222,012,021	6,475,830
臨時雇賃金	44,824,797	51,570,635	△ 6,745,838
特別手当引当金繰入額	58,397,494	49,874,720	8,522,774
役員退職慰労引当金繰入額	3,094,740	3,079,560	15,180
退職給付費用	46,698,646	50,503,620	△ 3,804,974
諸謝金	11,525,651	9,249,856	2,275,795
事務所等賃借料	170,605,807	166,094,563	4,511,244
試験会場賃借料	88,998,957	88,324,473	674,484
事業負担金	10,000,000	10,000,000	0
リース料	28,348,857	29,119,909	△ 771,052
光熱水料費	13,099,981	13,585,278	△ 485,297
通信運搬費	165,765,990	167,811,111	△ 2,045,121
印刷製本費	144,661,668	147,875,616	△ 3,213,948
委託費	206,534,845	209,999,445	△ 3,464,600
保守管理費	5,644,063	5,592,464	51,599
旅費交通費	43,993,167	44,682,646	△ 689,479
電子申請試験手数料収納費	28,625,830	26,125,903	2,499,927
消耗什器備品費	19,032	0	19,032
消耗品費	40,183,663	45,769,923	△ 5,586,260
会議費	22,980,528	21,637,214	1,343,314
広告費	25,178,154	27,830,292	△ 2,652,138
消防防災等推進事業助成金	40,262,416	37,868,466	2,393,950
諸会費	871,916	938,245	△ 66,329
災害保険料	1,129,025	1,163,570	△ 34,545
租税公課	35,681,291	14,580,449	21,100,842
減価償却費	131,583,157	133,629,035	△ 2,045,878
雑費	15,843,872	17,066,112	△ 1,222,240

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費	97,770,950	103,646,467	△ 5,875,517
役員報酬	22,384,710	22,131,621	253,089
給料手当	28,344,692	28,200,883	143,809
法定福利費	6,318,357	8,078,932	△ 1,760,575
福利厚生費	1,674,400	1,534,953	139,447
臨時雇賃金	1,802,951	2,593,707	△ 790,756
特別手当引当金繰入額	4,027,168	2,904,543	1,122,625
役員退職慰勞引当金繰入額	2,966,660	2,936,040	30,620
退職給付費用	1,683,043	1,488,929	194,114
諸謝金	1,894,421	1,298,936	595,485
事務所等賃借料	12,886,215	12,886,223	△ 8
運営負担金	3,800,000	3,800,000	0
リース料	133,224	136,522	△ 3,298
光熱水料費	705,955	746,442	△ 40,487
通信運搬費	633,294	940,022	△ 306,728
印刷製本費	438,410	526,542	△ 88,132
委託費	1,475,029	2,190,524	△ 715,495
保守管理費	436,205	462,676	△ 26,471
旅費交通費	1,106,170	1,253,215	△ 147,045
消耗品費	665,719	1,232,066	△ 566,347
会議費	1,090,672	1,133,055	△ 42,383
広告費	20,664	17,064	3,600
諸会費	116,928	111,178	5,750
災害保険料	161,665	163,380	△ 1,715
租税公課	2,522,070	6,554,222	△ 4,032,152
雑費	482,328	324,792	157,536
経常費用計	2,938,623,436	2,889,200,909	49,422,527
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 455,912,316	△ 356,640,456	△ 99,271,860
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 455,912,316	△ 356,640,456	△ 99,271,860
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 基本財産投資有価証券償還益			
基本財産投資有価証券償還益	0	151,380,000	△ 151,380,000
経常外収益計	0	151,380,000	△ 151,380,000
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	83,629	24,856,083	△ 24,772,454
建物附属設備除却損	83,628	520,581	△ 436,953
什器備品除却損	1	2	△ 1
ソフトウェア除却損	0	24,335,500	△ 24,335,500
② 固定資産評価損			
電話加入権評価損	0	28,000	△ 28,000
経常外費用計	83,629	24,884,083	△ 24,800,454
当期経常外増減額	△ 83,629	126,495,917	△ 126,579,546
当期一般正味財産増減額	△ 455,995,945	△ 230,144,539	△ 225,851,406
一般正味財産期首残高	4,532,756,661	4,762,901,200	△ 230,144,539
一般正味財産期末残高	4,076,760,716	4,532,756,661	△ 455,995,945
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産期末残高	128,500,000	128,500,000	0
III 正味財産期末残高	4,205,260,716	4,661,256,661	△ 455,995,945

平成28年度の試験実施結果について —業務部—

当センターが平成28年度に実施した、危険物取扱者試験、消防設備士試験及び予防技術検定の試験実施結果は次のとおりです。

1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果の概要

危険物取扱者試験及び消防設備士試験の全国における試験実施回数及び受験申請者等の状況は(表1)のとおりです。受験申請者の利便性の向上を図るため、年々試験実施回数を増加させて受験機会を増やしていますが、危険物取扱者試験の受験申請者数は、ここ数年減少傾向を示しています。

■ 表1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果 (単位：回，人)

年 度	区 分	危険物取扱者試験	消防設備士試験	合 計
平成26年度	試験実施回数	3,219	1,409	4,628
	申請者数	455,212	104,224	559,436
	受験者数	415,006	83,110	498,116
	合格者数	158,914	30,825	189,739
平成27年度	試験実施回数	3,291	1,460	4,751
	申請者数	441,906	107,804	549,710
	受験者数	401,096	84,848	485,944
	合格者数	152,111	27,516	179,627
平成28年度	試験実施回数	3,408	1,508	4,916
	申請者数	431,339	108,284	539,623
	受験者数	388,505	84,337	472,842
	合格者数	145,016	29,117	174,133
対前年度	試験実施回数	+117	+48	+165
	申請者数	-10,567	+480	-10,087
	受験者数	-12,591	-511	-13,102
	合格者数	-7,095	+1,601	-5,494

2 危険物取扱者試験の実施状況

(1) 試験実施回数の状況 (表2)

試験実施回数は、3,408回で、前年度の3,291回に比べ117回増加しました。

■ 表2 危険物取扱者試験の実施回数 (単位：回)

年 度	甲 種	乙 種							丙 種	合 計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小 計		
平成26年度	288	366	375	382	669	382	377	2,551	380	3,219
平成27年度	282	374	368	384	709	385	390	2,610	399	3,291
平成28年度	297	383	385	387	739	398	399	2,691	420	3,408
対前年度	+15	+9	+17	+3	+30	+13	+9	+81	+21	+117

(2) 種類別受験申請者の状況 (表3)

全受験申請者数は431,339人と、前年度に比べ10,567人の減少となりました。種類別に増減数を見ると、全ての類にわたって減少傾向が見られます。

乙種第4類は、ガソリン、灯油、重油等の最も一般的な危険物の取扱い等に必要な資格であることから、種類別受験申請者数ではその数が299,080人(全体の69.3%)と最も多くなっています。この傾向は例年どおりです。

■ 表3 危険物取扱者試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成26年度	申請者	27,600	15,234	14,636	16,241	307,106	16,523	18,364	388,104	39,508	455,212
	構成割合	6.1	3.3	3.2	3.6	67.5	3.6	4.0	85.3	8.7	100
平成27年度	申請者	26,658	13,951	13,581	15,008	303,615	14,660	16,591	377,406	37,842	441,906
	構成割合	6.0	3.2	3.1	3.4	68.7	3.3	3.8	85.4	8.6	100
平成28年度	申請者	26,639	13,114	12,669	14,014	299,080	14,042	15,246	368,165	36,535	431,339
	構成割合	6.2	3.0	2.9	3.2	69.3	3.3	3.5	85.4	8.5	100
対前年度	申請者	-19	-837	-912	-994	-4,535	-618	-1,345	-9,241	-1,307	-10,567

(3) 種類別合格率の状況 (表4)

全体の合格率は37.3%であり、前年度と比較すると、0.6ポイントの減少でした。

種類ごとの合格率を見ると、甲種が33.5%、乙種第4類が28.9%と、例年同様他の種類と比較して低い値となっています。

■ 表4 危険物取扱者試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成26年度	受験者	24,022	14,690	14,161	15,631	275,415	16,007	17,784	353,688	37,296	415,006
	合格者	7,889	9,889	9,535	10,554	80,347	10,987	11,620	132,932	18,093	158,914
	合格率	32.8	67.3	67.3	67.5	29.2	68.6	65.3	37.6	48.5	38.3
平成27年度	受験者	22,905	13,456	13,105	14,397	271,234	14,122	16,085	342,399	35,792	401,096
	合格者	7,381	8,962	8,592	9,728	79,718	9,593	10,521	127,114	17,616	152,111
	合格率	32.2	66.6	65.6	67.6	29.4	67.9	65.4	37.1	49.2	37.9
平成28年度	受験者	22,845	12,586	12,151	13,403	264,946	13,510	14,662	331,258	34,402	388,505
	合格者	7,653	8,250	8,171	9,165	76,575	9,039	9,425	120,625	16,738	145,016
	合格率	33.5	65.5	67.2	68.4	28.9	66.9	64.3	36.4	48.7	37.3

(4) 職業別受験状況 (表5-1、表5-2)

受験申請者の職業別構成(表5-1)を見ると、高校生が最も多く全体の32.8%を占めるなど、その割合は前年度とほぼ同様の傾向が見られますが、高校生の受験申請者数は10,375人の減少、その割合は1.5ポイントの減少でした(前年度は151,700人34.3%)。また、高校生の甲種受験申請者は900人(前年度1,011人)でした。

平成18年度、23年度と比較(表5-2)すると高校生の受験申請者が、その人数、割合ともに大きく減少していることや、ガソリンスタンド職員の受験申請者数が減少傾向にあることがわかります。

■ 表 5-1 危険物取扱者試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業等	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
高校生	申請者	900	6,362	5,061	5,316	83,565	5,370	7,518	113,192	27,233	141,325	32.8
	受験者	879	6,272	4,982	5,230	80,196	5,292	7,396	109,368	26,084	136,331	
	合格者	142	3,678	3,079	3,202	13,790	3,100	4,086	30,935	11,431	42,508	
	合格率	16.2	58.6	61.8	61.2	17.2	58.6	55.2	28.3	43.8	31.2	
高校以外の学生、教育・研究機関	申請者	4,373	449	369	547	19,823	568	517	22,273	956	27,602	6.4
	受験者	3,938	418	352	527	17,482	549	493	19,821	885	24,644	
	合格者	1,634	299	244	401	6,320	402	365	8,031	527	10,192	
	合格率	41.5	71.5	69.3	76.1	36.2	73.2	74.0	40.5	59.5	41.4	
ガソリンスタンド	申請者	101	48	58	64	24,676	49	51	24,946	1,070	26,117	6.1
	受験者	79	47	56	62	21,235	46	45	21,491	955	22,525	
	合格者	17	29	34	35	4,308	31	31	4,468	462	4,947	
	合格率	21.5	61.7	60.7	56.5	20.3	67.4	68.9	20.8	48.4	22.0	
化学工業	申請者	8,082	723	1,020	885	12,512	1,329	644	17,113	27	25,222	5.8
	受験者	7,104	688	975	841	11,040	1,271	622	15,437	23	22,564	
	合格者	2,506	450	644	527	3,275	855	440	6,191	16	8,713	
	合格率	35.3	65.4	66.1	62.7	29.7	67.3	70.7	40.1	69.6	38.6	
危険物の卸売業、小売業	申請者	267	127	144	113	8,450	137	145	9,116	662	10,045	2.3
	受験者	223	121	136	104	7,129	129	133	7,752	582	8,557	
	合格者	62	84	91	74	2,271	93	104	2,717	391	3,170	
	合格率	27.8	69.4	66.9	71.2	31.9	72.1	78.2	35.0	67.2	37.0	
危険物の運送業	申請者	126	140	187	190	4,675	189	303	5,684	696	6,506	1.5
	受験者	89	130	173	176	3,833	179	285	4,776	583	5,448	
	合格者	21	95	125	123	996	122	159	1,620	308	1,949	
	合格率	23.6	73.1	72.3	69.9	26.0	68.2	55.8	33.9	52.8	35.8	
危険物を扱うその他の事業	申請者	5,503	1,493	2,223	1,889	61,127	1,886	1,851	70,469	1,477	77,449	18.0
	受験者	4,675	1,398	2,097	1,783	53,403	1,794	1,740	62,215	1,341	68,231	
	合格者	1,511	978	1,425	1,295	17,086	1,248	1,217	23,249	910	25,670	
	合格率	32.3	70.0	68.0	72.6	32.0	69.6	69.9	37.4	67.9	37.6	
公務員	申請者	1,260	901	833	1,293	14,179	1,060	991	19,257	501	21,018	4.9
	受験者	1,040	842	789	1,216	12,400	985	932	17,164	463	18,667	
	合格者	351	656	634	964	6,637	763	712	10,366	401	11,118	
	合格率	33.8	77.9	80.4	79.3	53.5	77.5	76.4	60.4	86.6	59.6	
その他	申請者	5,553	2,681	2,569	3,486	63,225	3,208	2,921	78,090	3,198	86,841	20.1
	受験者	4,424	2,493	2,394	3,247	52,196	3,031	2,727	66,088	2,829	73,341	
	合格者	1,298	1,875	1,767	2,410	20,574	2,277	2,123	31,026	2,012	34,336	
	合格率	29.3	75.2	73.8	74.2	39.4	75.1	77.9	46.9	71.1	46.8	
未入力	申請者	474	190	205	231	6,848	246	305	8,025	715	9,214	2.1
	受験者	394	177	197	217	6,032	234	289	7,146	657	8,197	
	合格者	111	106	128	134	1,318	148	188	2,022	280	2,413	
	合格率	28.2	59.9	65.0	61.8	21.9	63.2	65.1	28.3	42.6	29.4	
合計	申請者	26,639	13,114	12,669	14,014	299,080	14,042	15,246	368,165	36,535	431,339	100
	受験者	22,845	12,586	12,151	13,403	264,946	13,510	14,662	331,258	34,402	388,505	
	合格者	7,653	8,250	8,171	9,165	76,575	9,039	9,425	120,625	16,738	145,016	
	合格率	33.5	65.5	67.2	68.4	28.9	66.9	64.3	36.4	48.7	37.3	

■ 表 5-2 危険物取扱者試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	高校生	高校生以外の学生等	ガソリンスタンド	化学工業	危険物卸・小売業	危険物の運送業	危険物を扱うその他の事業	公務員	その他	未入力	合計
平成18年度	申請者数	224,956	39,637	38,966	23,257	8,810	6,302	71,637	17,057	74,775	6,980	512,377
	構成割合	43.9	7.7	7.6	4.5	1.7	1.2	14.0	3.3	14.6	1.4	100
平成23年度	申請者数	199,201	35,640	28,320	27,291	8,640	6,302	76,494	19,586	92,841	7,536	501,851
	構成割合	39.7	7.1	5.6	5.4	1.7	1.3	15.2	3.9	18.5	1.5	100
平成28年度	申請者数	141,325	27,602	26,117	25,222	10,045	6,506	77,449	21,018	86,841	9,214	431,339
	構成割合	32.8	6.4	6.1	5.8	2.3	1.5	18.0	4.9	20.1	2.1	100

(5) 年代別受験状況 (表6)

高校生の受験申請者が多数を占めることから、20歳代未満の受験申請者が38.7%と高い値となっています。年齢別構成割合は、20歳代未満の受験申請者割合が、1.7ポイント減少した他は、前年度とほぼ同様の傾向を示しています。今後、少子高齢化の影響により、その割合が変化していくことが予想されます。

合格率を年代別に見ると、全体的には60歳代までは年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表6 危険物取扱者試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
20代未満	申請者	1,271	6,667	5,415	5,716	105,108	5,813	7,981	136,700	28,802	166,773	38.7
	受験者	1,218	6,568	5,325	5,618	99,704	5,721	7,847	130,783	27,554	159,555	
	合格者	223	3,867	3,308	3,465	18,790	3,366	4,355	37,151	12,176	49,550	
	合格率	18.3	58.9	62.1	61.7	18.8	58.8	55.5	28.4	44.2	31.1	
20代	申請者	12,923	1,665	1,874	2,265	76,723	2,250	1,898	86,675	2,038	101,636	23.6
	受験者	11,450	1,542	1,754	2,108	66,022	2,133	1,771	75,330	1,848	88,628	
	合格者	4,678	1,063	1,177	1,506	22,711	1,459	1,256	29,172	1,154	35,004	
	合格率	40.9	68.9	67.1	71.4	34.4	68.4	70.9	38.7	62.4	39.5	
30代	申請者	5,979	1,822	2,129	2,347	50,948	2,369	2,072	61,687	2,028	69,694	16.2
	受験者	4,851	1,682	1,989	2,204	43,255	2,231	1,930	53,291	1,814	59,956	
	合格者	1,443	1,247	1,460	1,605	14,652	1,637	1,425	22,026	1,164	24,633	
	合格率	29.7	74.1	73.4	72.8	33.9	73.4	73.8	41.3	64.2	41.1	
40代	申請者	4,220	1,833	2,108	2,294	42,203	2,241	2,068	52,747	1,986	58,953	13.7
	受験者	3,469	1,722	1,989	2,156	35,465	2,120	1,962	45,414	1,706	50,589	
	合格者	842	1,283	1,431	1,606	11,976	1,604	1,494	19,394	1,197	21,433	
	合格率	24.3	74.5	71.9	74.5	33.8	75.7	76.1	42.7	70.2	42.4	
50代	申請者	1,825	904	948	1,138	18,980	1,134	1,017	24,121	1,211	27,157	6.3
	受験者	1,496	857	903	1,076	16,055	1,082	956	20,929	1,061	23,486	
	合格者	383	646	657	812	6,380	804	743	10,042	769	11,194	
	合格率	25.6	75.4	72.8	75.5	39.7	74.3	77.7	48.0	72.5	47.7	
60代	申請者	408	215	186	239	4,754	228	201	5,823	424	6,655	1.5
	受験者	349	207	182	226	4,159	216	188	5,178	377	5,904	
	合格者	80	139	130	163	1,983	162	145	2,722	257	3,059	
	合格率	22.9	67.1	71.4	72.1	47.7	75.0	77.1	52.6	68.2	51.8	
70代以上	申請者	13	8	9	15	364	7	9	412	46	471	0.1
	受験者	12	8	9	15	286	7	8	333	42	387	
	合格者	4	5	8	8	83	7	7	118	21	143	
	合格率	33.3	62.5	88.9	53.3	29.0	100.0	87.5	35.4	50.0	37.0	
合計	申請者	26,639	13,114	12,669	14,014	299,080	14,042	15,246	368,165	36,535	431,339	100
	受験者	22,845	12,586	12,151	13,403	264,946	13,510	14,662	331,258	34,402	388,505	
	合格者	7,653	8,250	8,171	9,165	76,575	9,039	9,425	120,625	16,738	145,016	
	合格率	33.5	65.5	67.2	68.4	28.9	66.9	64.3	36.4	48.7	37.3	

3 消防設備士試験の実施状況

(1) 試験実施回数の状況 (表7)

試験実施回数は、1,508回で前年度に比べ48回の増加となりました。前年度の実績と比較すると、甲種は20回、乙種は28回それぞれ試験回数が増加しています。

■ 表7 消防設備士試験の種類別試験実施回数 (単位：回)

年度	甲種							乙種							合計	
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小計
平成26年度	94	114	105	107	121	105	646	104	94	98	123	100	129	115	763	1,409
平成27年度	98	120	108	110	128	108	672	109	100	100	126	103	134	116	788	1,460
平成28年度	101	124	110	113	134	110	692	113	101	103	132	107	137	123	816	1,508
対前年度	+3	+4	+2	+3	+6	+2	+20	+4	+1	+3	+6	+4	+3	+7	+28	+48

(2) 種類別受験申請者数の状況 (表8)

全受験申請者は108,284人であり、前年度の107,804人に比べ480人の増加となりました。

■ 表8 消防設備士試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成26年度	申請者	1,337	14,568	3,399	4,084	23,377	3,927	50,692	3,141	869	941	13,881	1,188	26,740	6,772	53,532	104,224
	構成割合	1.3	14.0	3.3	3.9	22.4	3.8	48.6	3.0	0.8	0.9	13.3	1.1	25.7	6.5	51.4	100
平成27年度	申請者	1,396	16,029	3,790	4,174	25,011	4,002	54,402	3,236	898	962	15,181	1,167	25,119	6,839	53,402	107,804
	構成割合	1.3	14.9	3.5	3.9	23.2	3.7	50.5	3.0	0.8	0.9	14.1	1.1	23.3	6.3	49.5	100
平成28年度	申請者	1,502	16,424	4,142	4,371	25,640	4,169	56,248	3,299	903	964	12,829	1,217	26,096	6,728	52,036	108,284
	構成割合	1.4	15.2	3.8	4.0	23.7	3.9	51.9	3.0	0.8	0.9	11.8	1.1	24.1	6.2	48.1	100
対前年度		+106	+395	+352	+197	+629	+167	+1,846	+63	+5	+2	-2,352	+50	+977	-111	-1,366	+480

(3) 種類別合格率の状況 (表9)

全体の合格率は34.5%であり、前年度と比較すると、2.1ポイントの上昇でした。

■ 表9 消防設備士試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成26年度	受験者	1,125	10,948	2,783	3,279	17,936	3,166	39,237	2,568	754	781	11,156	986	21,784	5,844	43,873	83,110
	合格者	306	2,977	1,028	979	6,269	1,037	12,596	854	264	208	3,789	425	9,200	3,489	18,229	30,825
	合格率	27.2	27.2	36.9	29.9	35.0	32.8	32.1	33.3	35.0	26.6	34.0	43.1	42.2	59.7	41.5	37.1
平成27年度	受験者	1,168	11,927	3,025	3,326	18,958	3,265	41,669	2,622	752	802	12,068	958	20,099	5,878	43,179	84,848
	合格者	190	2,712	892	877	5,494	1,048	11,213	754	228	262	3,418	376	7,888	3,377	16,303	27,516
	合格率	16.3	22.7	29.5	26.4	29.0	32.1	26.9	28.8	30.3	32.7	28.3	39.2	39.2	57.5	37.8	32.4
平成28年度	受験者	1,289	12,044	3,313	3,447	19,301	3,298	42,692	2,669	752	809	10,072	984	20,627	5,732	41,645	84,337
	合格者	212	2,958	1,086	1,090	6,403	1,210	12,959	766	263	226	3,277	459	7,807	3,360	16,158	29,117
	合格率	16.4	24.6	32.8	31.6	33.2	36.7	30.4	28.7	35.0	27.9	32.5	46.6	37.8	58.6	38.8	34.5

(4) 筆記試験、実技試験の合格者の状況 (表10)

消防設備士試験には、筆記試験と実技試験の2つの試験がありますが、筆記試験の合格率は57.6%でした。筆記試験合格者のうち実技試験にも合格した者の全受験者に対する割合(最終合格率)は34.5%でした。

■ 表10 消防設備士試験の筆記試験、実技試験の合格状況 (単位：人，%)

試験種類	区分	甲 種							乙 種							合計
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		
申請者数		1,502	16,424	4,142	4,371	25,640	4,169	3,299	903	964	12,829	1,217	26,096	6,728	108,284	
受験者数		1,289	12,044	3,313	3,447	19,301	3,298	2,669	752	809	10,072	984	20,627	5,732	84,337	
筆 記	合格者数	212	5,708	2,206	2,196	11,082	1,915	1,552	511	553	6,258	627	12,101	3,657	48,578	
	合格率	16.4	47.4	66.6	63.7	57.4	58.1	58.1	68.0	68.4	62.1	63.7	58.7	63.8	57.6	
実 技	合格者数	—	2,958	1,086	1,090	6,403	1,210	766	263	226	3,277	459	7,807	1,906	27,446	
	合格率	—	51.8	49.2	49.6	57.8	63.2	49.4	51.5	40.9	52.4	73.2	64.5	86.5	58.5	
最 終	合格者数	212	2,958	1,086	1,090	6,403	1,210	766	263	226	3,277	459	7,807	3,360	29,117	
	合格率	16.4	24.6	32.8	31.6	33.2	36.7	28.7	35.0	27.9	32.5	46.6	37.8	58.6	34.5	

(5) 職業別受験状況 (表11-1、表11-2)

受験申請者の職業のうち、最も多い職業は消防設備業であり、電気工事業、ビル管理業、管工事業がこれに次いで多くの割合を占めています。この傾向はほぼ例年どおりであり、これらの職業の従事者で全体の過半数を占めています。

職業別受験申請者数の推移(表11-2)については、ここ数年その構成割合に大きな変化は認められません。

■ 表 11-1 消防設備士試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の構成割合	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小 計
学生	申請者	4	158	11	7	981	11	1,172	152	4	1	1,008	22	706	1,183	3,076	4,248	3.9
	受験者	4	129	8	7	822	9	979	138	3	1	828	20	589	1,119	2,698	3,677	
	合格者	1	31	4	3	319	5	363	16	0	0	240	9	223	541	1,029	1,392	
	合格率	25.0	24.0	50.0	42.9	38.8	55.6	37.1	11.6	0.0	0.0	29.0	45.0	37.9	48.3	38.1	37.9	
消防設備業	申請者	642	3,681	1,685	2,030	4,331	2,044	14,413	313	116	201	646	171	5,527	676	7,650	22,063	20.4
	受験者	546	2,830	1,325	1,596	3,469	1,597	11,363	249	99	165	509	145	4,534	570	6,271	17,634	
	合格者	77	602	346	367	1,044	404	2,840	58	43	42	123	64	1,255	303	1,888	4,728	
	合格率	14.1	21.3	26.1	23.0	30.1	25.3	25.0	23.3	43.4	25.5	24.2	44.1	27.7	53.2	30.1	26.8	
電気工事業	申請者	78	691	177	316	9,727	273	11,262	96	16	54	1,043	58	1,577	1,462	4,306	15,568	14.4
	受験者	62	510	143	226	7,255	192	8,388	79	16	46	783	45	1,187	1,174	3,330	11,718	
	合格者	6	147	49	72	1,830	65	2,169	17	6	11	176	22	406	567	1,205	3,374	
	合格率	9.7	28.8	34.3	31.9	25.2	33.9	25.9	21.5	37.5	23.9	22.5	48.9	34.2	48.3	36.2	28.8	
管工事業	申請者	65	6,513	691	399	631	135	8,434	200	19	19	134	11	777	90	1,250	9,684	8.9
	受験者	54	4,625	530	313	428	103	6,053	150	14	15	104	7	581	77	948	7,001	
	合格者	4	708	139	100	134	47	1,132	20	1	3	13	6	186	41	270	1,402	
	合格率	7.4	15.3	26.2	31.9	31.3	45.6	18.7	13.3	7.1	20.0	12.5	85.7	32.0	53.2	28.5	20.0	
建築業	申請者	41	1,520	202	170	1,601	172	3,706	108	11	15	579	48	787	141	1,689	5,395	5.0
	受験者	36	1,024	158	122	1,051	135	2,526	76	4	12	450	28	553	111	1,234	3,760	
	合格者	5	311	53	46	360	56	831	13	1	6	85	15	205	67	392	1,223	
	合格率	13.9	30.4	33.5	37.7	34.3	41.5	32.9	17.1	25.0	50.0	18.9	53.6	37.1	60.4	31.8	32.5	
ビル管理業	申請者	227	1,279	436	486	2,833	559	5,820	460	144	159	1,719	259	3,231	938	6,910	12,730	11.8
	受験者	191	953	369	391	2,093	461	4,458	358	122	130	1,299	213	2,394	809	5,325	9,783	
	合格者	26	396	135	158	904	203	1,822	133	44	43	451	89	1,019	587	2,366	4,188	
	合格率	13.6	41.6	36.6	40.4	43.2	44.0	40.9	37.2	36.1	33.1	34.7	41.8	42.6	72.6	44.4	42.8	
ビル整備業	申請者	15	48	8	13	95	18	197	22	1	2	78	11	101	31	246	443	0.4
	受験者	14	26	7	9	75	15	146	17	1	2	55	8	76	27	186	332	
	合格者	0	5	4	2	29	9	49	4	0	1	19	3	21	15	63	112	
	合格率	0.0	19.2	57.1	22.2	38.7	60.0	33.6	23.5	0.0	50.0	34.5	37.5	27.6	55.6	33.9	33.7	
公務員	申請者	120	435	191	221	794	241	2,002	282	77	70	929	145	2,565	351	4,419	6,421	5.9
	受験者	108	340	162	195	647	201	1,653	229	61	60	750	123	1,978	304	3,505	5,158	
	合格者	51	209	106	113	346	132	957	94	32	21	315	72	965	212	1,711	2,668	
	合格率	47.2	61.5	65.4	57.9	53.5	65.7	57.9	41.0	52.5	35.0	42.0	58.5	48.8	69.7	48.8	51.7	
その他	申請者	303	1,926	715	699	4,352	691	8,686	1,627	504	431	6,516	483	10,430	1,781	21,772	30,458	28.1
	受験者	269	1,477	590	566	3,245	565	6,712	1,344	423	367	5,156	390	8,411	1,480	17,571	24,283	
	合格者	42	533	246	225	1,388	283	2,717	405	133	94	1,824	178	3,431	1,001	7,066	9,783	
	合格率	15.6	36.1	41.7	39.8	42.8	50.1	40.5	30.1	31.4	25.6	35.4	45.6	40.8	67.6	40.2	40.3	
未入力	申請者	7	173	26	30	295	25	556	39	11	12	177	9	395	75	718	1,274	1.2
	受験者	5	130	21	22	216	20	414	29	9	11	138	5	324	61	577	991	
	合格者	0	16	4	4	49	6	79	6	3	5	31	1	96	26	168	247	
	合格率	0.0	12.3	19.0	18.2	22.7	30.0	19.1	20.7	33.3	45.5	22.5	20.0	29.6	42.6	29.1	24.9	
合計	申請者	1,502	16,424	4,142	4,371	25,640	4,169	56,248	3,299	903	964	12,829	1,217	26,096	6,728	52,036	108,284	100
	受験者	1,289	12,044	3,313	3,447	19,301	3,298	42,692	2,669	752	809	10,072	984	20,627	5,732	41,645	84,337	
	合格者	212	2,958	1,086	1,090	6,403	1,210	12,959	766	263	226	3,277	459	7,807	3,360	16,158	29,117	
	合格率	16.4	24.6	32.8	31.6	33.2	36.7	30.4	28.7	35.0	27.9	32.5	46.6	37.8	58.6	38.8	34.5	

■ 表 11-2 消防設備士試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	学 生	消防設備業	電気工事業	管工事業	建築業	ビル管理業	ビル整備業	公務員	その他	未入力	合計
平成18年度	申請者数	4,202	15,449	10,251	5,703	2,439	8,706	358	4,569	21,424	490	73,591
	構成割合	5.7	21.0	13.9	7.7	3.3	11.8	0.5	6.2	29.1	0.7	100
平成23年度	申請者数	5,449	20,509	13,743	8,473	4,036	12,053	381	5,437	31,184	1,128	102,393
	構成割合	5.3	20.0	13.4	8.3	3.9	11.8	0.4	5.3	30.5	1.1	100
平成28年度	申請者数	4,248	22,063	15,568	9,684	5,395	12,730	443	6,421	30,458	1,274	108,284
	構成割合	3.9	20.4	14.4	8.9	5.0	11.8	0.4	5.9	28.1	1.2	100

(6) 年代別受験状況 (表12)

年代別に見た場合、20歳代未満の受験申請者割合は3.5%であり、危険物取扱者試験のように、20歳代未満の受験申請者が際立って多いことはありません。30歳代の割合が最も多く28.4%を占め、20歳代、40歳代の割合がこれに続きます。

年代別合格率は、危険物取扱者試験と同じく、全体的には60歳代までは概ね年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表 12 消防設備士試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の 構成割合	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小 計
20代 未満	申請者	1	162	15	8	878	4	1,068	103	4	1	557	12	912	1,159	2,748	3,816	3.5
	受験者	0	123	14	7	772	3	919	94	4	1	470	8	788	1,093	2,458	3,377	
	合格者	0	9	4	1	220	2	236	7	0	0	89	3	182	499	780	1,016	
	合格率	0.0	7.3	28.6	14.3	28.5	66.7	25.7	7.4	0.0	0.0	18.9	37.5	23.1	45.7	31.7	30.1	
20代	申請者	86	5,302	801	666	8,046	684	15,585	764	145	155	2,940	179	8,051	1,411	13,645	29,230	27.0
	受験者	68	3,884	605	512	5,972	537	11,578	599	120	132	2,213	136	6,370	1,132	10,702	22,280	
	合格者	18	845	196	167	1,822	187	3,235	135	36	38	629	58	2,184	560	3,640	6,875	
	合格率	26.5	21.8	32.4	32.6	30.5	34.8	27.9	22.5	30.0	28.8	28.4	42.6	34.3	49.5	34.0	30.9	
30代	申請者	367	4,928	1,402	1,463	7,393	1,369	16,922	904	249	249	3,336	296	7,202	1,560	13,796	30,718	28.4
	受験者	314	3,566	1,125	1,137	5,501	1,079	12,722	721	195	204	2,569	241	5,624	1,290	10,844	23,566	
	合格者	65	903	379	337	1,852	368	3,904	205	71	48	845	117	2,148	810	4,244	8,148	
	合格率	20.7	25.3	33.7	29.6	33.7	34.1	30.7	28.4	36.4	23.5	32.9	48.5	38.2	62.8	39.1	34.6	
40代	申請者	548	4,257	1,213	1,437	6,200	1,358	15,013	787	256	296	3,137	419	6,048	1,600	12,543	27,556	25.4
	受験者	484	3,121	962	1,121	4,623	1,058	11,369	638	217	246	2,480	345	4,697	1,338	9,961	21,330	
	合格者	81	760	299	333	1,574	370	3,417	200	78	66	837	163	1,921	855	4,120	7,537	
	合格率	16.7	24.4	31.1	29.7	34.0	35.0	30.1	31.3	35.9	26.8	33.8	47.2	40.9	63.9	41.4	35.3	
50代	申請者	354	1,410	554	618	2,475	589	6,000	552	180	192	2,088	214	3,110	782	7,118	13,118	12.1
	受験者	295	1,057	470	517	1,912	476	4,727	460	155	163	1,692	163	2,492	677	5,802	10,529	
	合格者	39	338	160	197	695	219	1,648	164	54	53	623	76	1,068	485	2,523	4,171	
	合格率	13.2	32.0	34.0	38.1	36.3	46.0	34.9	35.7	34.8	32.5	36.8	46.6	42.9	71.6	43.5	39.6	
60代	申請者	139	346	138	167	619	146	1,555	180	67	63	738	89	708	206	2,051	3,606	3.3
	受験者	122	277	121	143	499	128	1,290	149	59	56	618	84	603	193	1,762	3,052	
	合格者	9	98	47	52	232	61	499	53	24	19	245	40	292	143	816	1,315	
	合格率	7.4	35.4	38.8	36.4	46.5	47.7	38.7	35.6	40.7	33.9	39.6	47.6	48.4	74.1	46.3	43.1	
70代 以上	申請者	7	19	19	12	29	19	105	9	2	8	33	8	65	10	135	240	0.2
	受験者	6	16	16	10	22	17	87	8	2	7	30	7	53	9	116	203	
	合格者	0	5	1	3	8	3	20	2	0	2	9	2	12	8	35	55	
	合格率	0.0	31.3	6.3	30.0	36.4	17.6	23.0	25.0	0.0	28.6	30.0	28.6	22.6	88.9	30.2	27.1	
合 計	申請者	1,502	16,424	4,142	4,371	25,640	4,169	56,248	3,299	903	964	12,829	1,217	26,096	6,728	52,036	108,284	100
	受験者	1,289	12,044	3,313	3,447	19,301	3,298	42,692	2,669	752	809	10,072	984	20,627	5,732	41,645	84,337	
	合格者	212	2,958	1,086	1,090	6,403	1,210	12,959	766	263	226	3,277	459	7,807	3,360	16,158	29,117	
	合格率	16.4	24.6	32.8	31.6	33.2	36.7	30.4	28.7	35.0	27.9	32.5	46.6	37.8	58.6	38.8	34.5	

4 予防技術検定の実施状況

予防技術検定は、予防技術資格者制度の発足に伴い、平成17年度から各年度1回ずつ全国一斉に実施しています。受験申請者数は順調に増加し、平成29年3月19日に実施した第12回検定では、受験申請者が8,333人と、前年度と比べ475人増加しました。

■ 表 13 予防技術検定の実施状況 (単位：人，%)

実施回	年 度	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第8回	平成24年度	6,325	5,922	2,669	45.1
第9回	平成25年度	6,641	6,219	3,232	52.0
第10回	平成26年度	7,151	6,771	3,270	48.3
第11回	平成27年度	7,858	7,328	2,826	38.6
第12回	平成28年度	8,333	7,813	4,556	58.3

平成28年度の免状作成等の状況について —免状部—

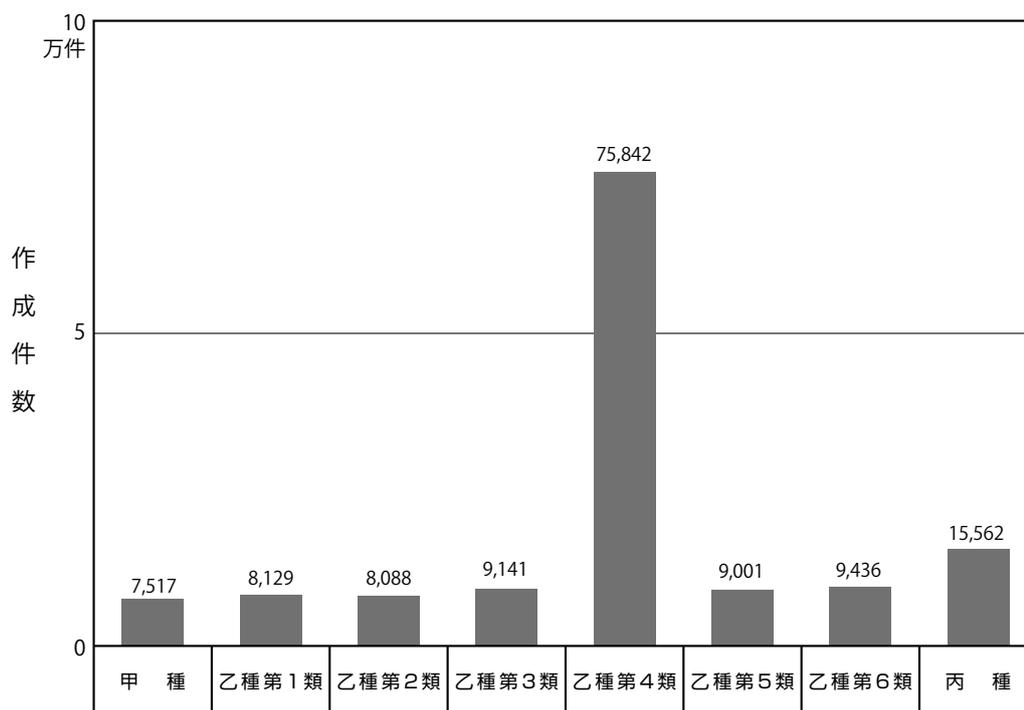
当センターが、平成28年度に都道府県から受託して作成した免状等の状況は、次のとおりです。

1 新規免状作成状況

(1) 危険物取扱者

危険物取扱者の新規免状作成件数は、図1のとおり、平成27年度と比べて3.5%減の14万2千716件となっています。

■図1 平成28年度 危険物取扱者新規免状作成件数

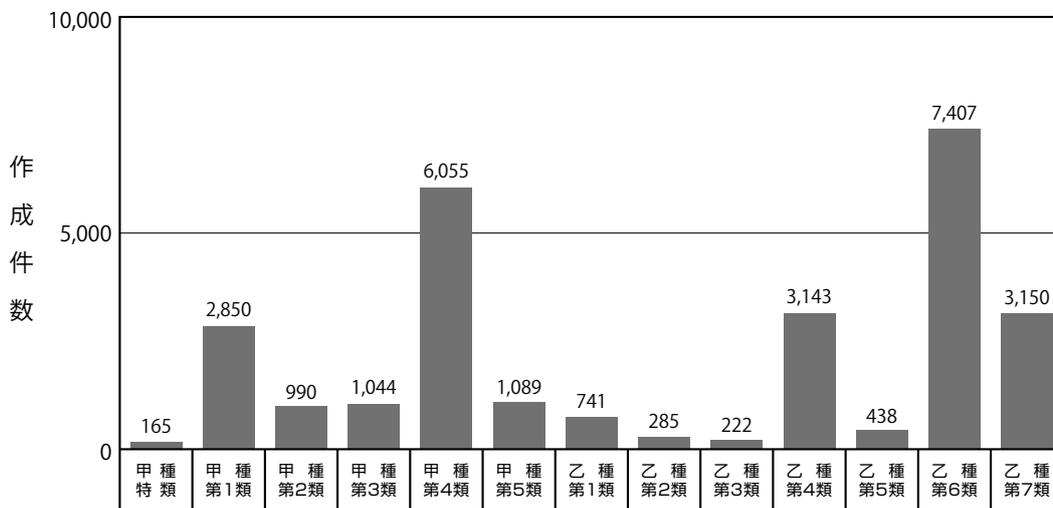


年度	甲種	乙種						丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
平成27年度	7,307	8,814	8,446	9,503	77,897	9,430	10,270	16,299	147,966
平成28年度	7,517	8,129	8,088	9,141	75,842	9,001	9,436	15,562	142,716
増減率	2.9%	-7.8%	-4.2%	-3.8%	-2.6%	-4.5%	-8.1%	-4.5%	-3.5%

(2) 消防設備士

消防設備士の新規免状作成件数は、図2のとおり、平成27年度と比べて0.3%増の2万7千552件となっています。

■図2 平成28年度 消防設備士新規免状作成件数



年度	甲種						乙種							合計
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	
平成27年度	208	2,691	948	809	5,554	1,030	752	243	256	3,143	379	8,155	3,302	27,470
平成28年度	165	2,850	990	1,044	6,055	1,089	741	258	222	3,143	438	7,407	3,150	27,552
増減率	-20.7%	5.9%	4.4%	29.0%	9.0%	5.7%	-1.5%	6.2%	-13.3%	0.0%	15.6%	-9.2%	-4.6%	0.3%

2 免状処理状況の推移

昭和63年度から平成28年度までの免状処理状況の推移は、図3、図4、表1及び表2のとおりです。なお、過去10年間の推移をみると次のとおりです。

(1) 新規

ア 危険物取扱者は、平成19年度の20万7千件をピークに20万件から14万件で推移していますが、平成28年度は、前年度に比べ3.5%減の14万2千716件となっています。

イ 消防設備士は、これまで平成26年度の2万9千件がピークでしたが、平成28年度は、前年度に比べ0.3%増の2万7千552件となっています。

(2) 写真書換え

ア 危険物取扱者は、平成17年度から平成20年度には8万件で推移していましたが、はがきによるお知らせ事業の開始（平成19年度末）後、平成21年度から平成23年度までの間は10万件から13万件台となっています。平成28年度は、前年度に比べ1.6%減の10万2千883件となっています。

イ 消防設備士は、1万件台で推移していましたが、危険物取扱者同様にお知らせ事業開始後、平成23年度、平成24年度と1万3千件台となっています。平成28年度は、前年度に比べ6.5%減の1万1千517件となっています。

(3) 本籍書換え

ア 危険物取扱者は、平成25年度から、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を表示しています。平成28年度は、前年度と比較して0.2%増の1千729件となっています。

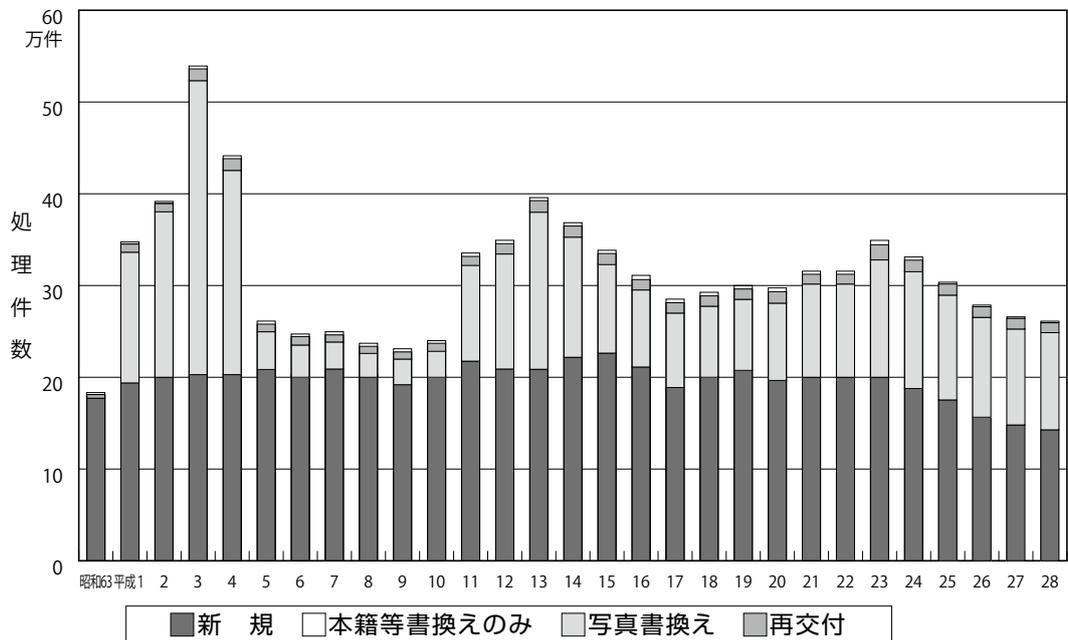
イ 消防設備士は、危険物取扱者と同様の理由により前年度と比較して25.8%増の263件となっています。

(4) 再交付

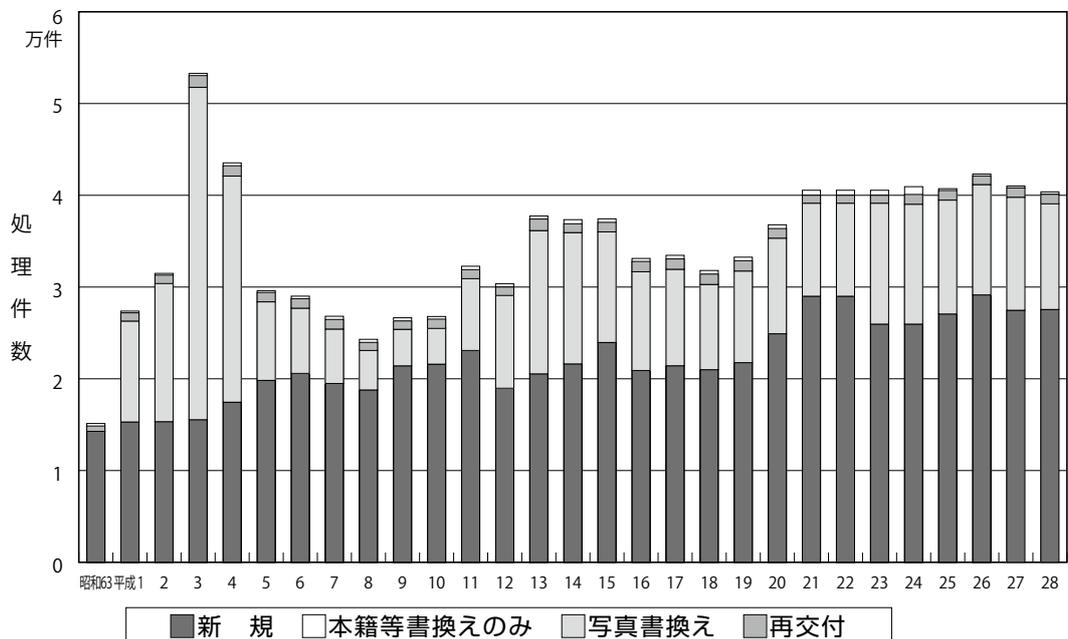
ア 危険物取扱者は、1万1千件前後で推移しています。平成28年度は前年度に比べて6.7%減の1万731件となっています。

イ 消防設備士は、1千件前後で推移しています。平成28年度は前年度に比べて1.8%増の1,033件となっています。

■図3 危険物取扱者の免状処理状況の推移



■図4 消防設備士の免状処理状況の推移



■ 表 1 危険物取扱者免状処理状況の推移

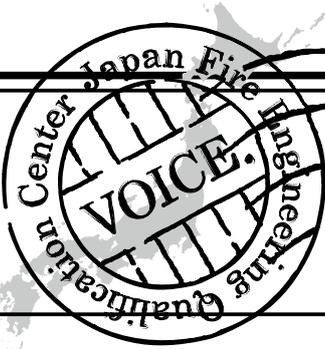
年度	合計	対前年 増減率	免状作成件数						再交付	対前年 増減率	本籍等 書換えのみ	対前年 増減率
			対前年 増減率	新規	対前年 増減率	写真書換え	対前年 増減率	再交付				
昭和63年度	182,519	—	180,838	—	177,566	—	—	—	3,272	—	1,681	—
平成1年度	346,876	90.0%	345,648	91.1%	194,564	9.6%	143,422	—	7,662	134.2%	1,228	-26.9%
平成2年度	391,648	12.9%	390,165	12.9%	199,375	2.5%	181,642	26.6%	9,148	19.4%	1,483	20.8%
平成3年度	539,433	37.7%	537,231	37.7%	202,844	1.7%	321,056	76.8%	13,331	45.7%	2,202	48.5%
平成4年度	440,831	-18.3%	438,636	-18.4%	202,975	0.1%	223,087	-30.5%	12,574	-5.7%	2,195	-0.3%
平成5年度	262,788	-40.4%	260,787	-40.5%	208,727	2.8%	44,325	-80.1%	7,735	-38.5%	2,001	-8.8%
平成6年度	248,916	-5.3%	246,614	-5.4%	201,848	-3.3%	36,504	-17.6%	8,262	6.8%	2,302	15.0%
平成7年度	251,749	1.1%	249,179	1.0%	211,299	4.7%	29,927	-18.0%	7,953	-3.7%	2,570	11.6%
平成8年度	239,407	-4.9%	236,524	-5.1%	202,421	-4.2%	26,280	-12.2%	7,823	-1.6%	2,883	12.2%
平成9年度	232,704	-2.8%	229,664	-2.9%	194,220	-4.1%	27,355	4.1%	8,089	3.4%	3,040	5.4%
平成10年度	241,814	3.9%	238,753	4.0%	203,114	4.6%	27,086	-1.0%	8,553	5.7%	3,061	0.7%
平成11年度	336,025	39.0%	332,893	39.4%	220,497	8.6%	102,647	279.0%	9,749	14.0%	3,132	2.3%
平成12年度	350,831	4.4%	347,739	4.5%	211,281	-4.2%	125,622	22.4%	10,836	11.1%	3,092	-1.3%
平成13年度	394,582	12.5%	391,442	12.6%	209,542	-0.8%	169,911	35.3%	11,989	10.6%	3,140	1.6%
平成14年度	370,008	-6.2%	366,897	-6.3%	222,496	6.2%	132,005	-22.3%	12,396	3.4%	3,111	-0.9%
平成15年度	339,491	-8.2%	336,370	-8.3%	227,288	2.2%	96,983	-26.5%	12,099	-2.4%	3,121	0.3%
平成16年度	331,034	-8.4%	308,000	-8.4%	212,220	-6.6%	84,159	-13.2%	11,621	-4.0%	3,034	-2.8%
平成17年度	284,975	-8.4%	281,941	-8.5%	189,455	-10.7%	80,987	-3.8%	11,499	-1.0%	3,034	0.0%
平成18年度	292,603	2.7%	289,406	2.6%	200,093	5.6%	77,283	-4.6%	12,030	4.6%	3,197	5.4%
平成19年度	300,211	2.6%	296,952	2.6%	207,754	3.8%	77,283	0.0%	11,915	-1.0%	3,259	1.9%
平成20年度	297,098	-1.0%	293,815	-1.1%	196,075	-5.6%	84,923	9.9%	12,817	7.6%	3,283	0.7%
平成21年度	321,663	8.3%	318,486	8.4%	199,816	1.9%	106,110	24.9%	12,560	-2.0%	3,177	-3.2%
平成22年度	322,723	0.3%	319,375	0.3%	192,459	-3.7%	114,549	8.0%	12,367	-1.5%	3,348	5.4%
平成23年度	353,617	9.6%	350,030	9.6%	197,942	2.8%	137,460	20.0%	14,628	18.3%	3,587	7.1%
平成24年度	331,084	-6.4%	327,660	-6.4%	187,758	-5.1%	127,300	-7.4%	12,602	-13.9%	3,424	-4.5%
平成25年度	303,580	-8.3%	301,616	-7.9%	175,299	-6.6%	114,195	-10.3%	12,122	-3.8%	1,964	-42.6%
平成26年度	278,640	-8.2%	276,871	-8.2%	156,466	-10.7%	108,828	-4.7%	11,577	-4.5%	1,769	-9.9%
平成27年度	265,757	-4.6%	264,031	-4.6%	147,966	-5.4%	104,558	-3.9%	11,507	-0.6%	1,726	-2.4%
平成28年度	258,059	-2.9%	256,330	-3.0%	142,716	-3.5%	102,883	-1.6%	10,731	-6.7%	1,729	0.2%

注) 平成25年度以降の本籍等書換えのみは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

■ 表 2 消防設備士免状処理状況の推移

年度	合計	対前年 増減率	免状作成件数						再交付	対前年 増減率	本籍等 書換えのみ	対前年 増減率
			対前年 増減率	新規	対前年 増減率	写真書換え	対前年 増減率	再交付				
昭和63年度	14,988	—	14,753	—	14,218	—	—	—	535	—	235	—
平成1年度	27,231	81.7%	27,092	83.6%	15,232	7.1%	11,062	—	798	49.2%	139	-40.9%
平成2年度	31,299	14.9%	31,179	15.1%	15,246	0.1%	15,031	35.9%	902	13.0%	120	-13.7%
平成3年度	53,267	70.2%	53,088	70.3%	15,439	1.3%	36,435	142.4%	1,214	34.6%	179	49.2%
平成4年度	43,398	-18.5%	43,196	-18.6%	17,386	12.6%	24,585	-32.5%	1,225	0.9%	202	12.8%
平成5年度	29,578	-31.8%	29,403	-31.9%	19,734	13.5%	8,716	-64.5%	953	-22.2%	175	-13.4%
平成6年度	28,994	-2.0%	28,760	-2.2%	20,632	4.6%	7,054	-19.1%	1,074	12.7%	234	33.7%
平成7年度	26,691	-7.9%	26,464	-8.0%	19,479	-5.6%	5,910	-16.2%	1,075	0.1%	227	-3.0%
平成8年度	24,274	-9.1%	23,971	-9.4%	18,728	-3.9%	4,276	-27.6%	967	-10.0%	303	33.5%
平成9年度	26,576	9.5%	26,297	9.7%	21,295	13.7%	4,043	-5.4%	959	-0.8%	279	-7.9%
平成10年度	26,691	0.4%	26,394	0.4%	21,567	1.3%	3,877	-4.1%	950	-0.9%	297	6.5%
平成11年度	32,256	20.8%	31,920	20.9%	23,105	7.1%	7,819	101.7%	996	4.8%	336	13.1%
平成12年度	30,402	-5.7%	30,107	-5.7%	18,881	-18.3%	10,192	30.3%	1,034	3.8%	295	-12.2%
平成13年度	37,655	23.9%	37,359	24.1%	20,539	8.8%	15,610	53.2%	1,210	17.0%	296	0.3%
平成14年度	37,288	-1.0%	36,947	-1.1%	21,629	5.3%	14,224	-8.9%	1,094	-9.6%	341	15.2%
平成15年度	37,387	0.3%	37,053	0.3%	23,877	10.4%	12,038	-15.4%	1,138	4.0%	334	-2.1%
平成16年度	33,025	-11.7%	32,733	-11.7%	20,753	-13.1%	10,823	-10.1%	1,157	1.7%	292	-12.6%
平成17年度	33,345	1.0%	33,030	0.9%	21,297	2.6%	10,607	-2.0%	1,126	-2.7%	315	7.9%
平成18年度	31,656	-5.1%	31,325	-5.2%	20,905	-1.8%	9,314	-12.2%	1,106	-1.8%	331	5.1%
平成19年度	33,142	4.7%	32,854	4.9%	21,705	3.8%	10,029	7.7%	1,120	1.3%	288	-13.0%
平成20年度	36,659	10.6%	36,369	10.7%	24,790	14.2%	10,527	5.0%	1,052	-6.1%	290	0.7%
平成21年度	40,390	10.2%	40,064	10.2%	28,458	14.8%	10,548	0.2%	1,058	0.6%	326	12.4%
平成22年度	40,379	0.0%	40,079	0.0%	27,444	-3.6%	11,557	9.6%	1,078	1.9%	300	-8.0%
平成23年度	40,214	-0.4%	39,885	-0.5%	25,586	-6.8%	13,080	13.2%	1,219	13.1%	329	9.7%
平成24年度	40,941	1.8%	40,662	1.9%	26,531	3.7%	13,067	-0.1%	1,064	-12.7%	279	-15.2%
平成25年度	40,723	-0.5%	40,525	-0.3%	27,066	2.0%	12,412	-5.0%	1,047	-1.6%	198	-29.0%
平成26年度	42,319	3.9%	42,112	3.9%	29,145	7.7%	12,021	-3.2%	946	-9.6%	207	9.0%
平成27年度	41,011	-3.1%	40,802	-3.1%	27,470	-5.7%	12,317	2.5%	1,015	7.3%	209	1.0%
平成28年度	40,365	-1.6%	40,102	-1.7%	27,552	0.3%	11,517	-6.5%	1,033	1.8%	263	25.8%

注) 平成25年度以降の本籍等書換えのみは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数



支部の広場

熊本県支部からお届け

はじめに

昨年4月の熊本地震に際しましては、本部及び各支部から心温まるお見舞いや励ましをいただきまして大変ありがとうございました。

発災から1年余りを経過し、県内では少しずつですが復旧・復興に向けた取り組みが前進し、被災者の方々の住まいの確保が進み、商店が営業を再開するなど、以前の活気を取り戻しつつあります。

特に御心配をおかけしました支部事務所につきましては、入居している熊本県教育会館ビルの復旧工事もほぼ終わりました。転倒したスチール棚や書類が散乱していた支部事務室内も早い時期に片付けが終わり、現在では支障なく通常業務ができております。会館の玄関前道路の封鎖に伴い、しばらくは会議室の窓が臨時の出入り口でしたが、現在は正面玄関から普通に出入りできます。

熊本県内の道路や交通機関の復旧状況ですが、大きな被害を受けた阿蘇へのアクセスルートにつきましては、南阿蘇へのルートが暫定開通し、また、大動脈である国道57号についても新たな復旧ルートの工事が進められています。

線路が流失したJR豊肥線、南阿蘇鉄道など交通機関の再開はかなり先になりますが、復旧に向けた具体的計画が練られているところです。

熊本のシンボル熊本城は、復旧を支援するために現在も全国の皆さんから多くの支援金が寄せられています。熊本県と熊本市が連携し2019年を目途に天守閣の復旧完了を目指すとともに、今後20年かけて全体的な復旧・復元を図っていくとしています。

復旧・復興に向けて県・市町村・県民が全力で取り組んでおりますので、今後とも御支援をいただきますようよろしく申し上げます。

支部の状況

当支部は熊本市中心部に近く、熊本城から約500m、徒歩7分程度のところにあります。大学病院や整形外科病院が近いせいか救急車のサイレン音は頻繁に聞こえてきますが、市内中心部にしては静かな執務環境です。

職員は新任の支部長と、2名の職員の3名体制で運営しています。

試験業務について

1 危険物取扱者試験

一般試験は6月、11月、2月の年3回実施しています。特定試験は刑務所、少年院、高校で実施しており、平成28年度は、刑務所で1回、少年院で2回、高校は11回実施しました。

受験申請者数の平成24年度から平成28年度までの推移については、表1のとおりです。受験申請者は平成20年度までは1万2千人を超えていましたがその後年々減少しており、平成26年度には1万人を切りました。

受験申請者減少の主な要因は当支部においても少子化等の影響による高校生の受験者減です。

また、本県の危険物取扱者試験の合格率は表2のとおり全国平均を下回っており、年々低下している状況です。そして県全体の合格率に比べて高校生の合格率はさらに低い数字となっています。この合格率の低さは、高校生の意欲や指導教師の意欲低下の一因となっていると思われます。

このため、平成27年度から県内の工業高校などの専門高校の教師を対象に担当者会議を開催していますが、この会議の中で受験対策についての講演や、各学校から事前に提出いただいた質問への回答を行うなど、指導者側である教師の意欲喚起と不安解消を図る取り組みを行っています。

今後も、この会議を継続的に実施するとともに、個別に高校を訪問するなどにより、学校、特に担当教師への働きかけを積極的に行い、受験者確保対策に努めてまいります。

■表1 危険物取扱者試験受験申請者数の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28
甲種	520	437	456	396	266
乙種	8,868	8,400	7,324	7,095	5,008
丙種	1,697	1,409	1,384	1,445	1,293
計(a)	11,085	10,246	9,164	8,936	6,567
うち高校生(b)	6,772	5,976	5,036	4,713	3,769
比率(%) b/a	61.1	58.3	55.0	52.7	57.4

■表2 危険物取扱者試験合格率

年度	H24	H25	H26	H27	H28
全国	42.8	40.6	38.3	37.9	37.3
熊本県	35.5	31.5	29.2	29.7	29.9
うち高校生	34.6	29.5	28.1	28.1	28.7

2 消防設備士試験

平成24年度から平成28年度までの消防設備士試験の受験申請者数の推移は表3のとおりです。消防設備士試験の一般試験は、9月に2回と3月に1回実施しており、受験申請者数は年間2,000人程度で推移しています。

ただ、平成28年度は熊本地震や台風12号による試験延期などの影響により大きく減少しています。

一般試験の中では、3月に設備士試験を実施している支部が比較的少ないことから、3月は他県からの受験申請者が多くなっています。

■表3 消防設備士試験受験申請者数の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28
甲種	1,012	956	1,012	1,052	818
乙種	997	884	1,023	925	664
計	2,009	1,840	2,035	1,977	1,482

○ 免状業務の状況

平成24年度から平成28年度の免状業務の処理件数は表4のとおりですが、平成26年度から写真書換え未了者に対するお知らせ事業を実施しており、同年度から書換え件数が増加しています。

■表4 免状交付件数の推移

(単位：件)

年度	H24	H25	H26	H27	H28	
危険物取扱者	新規交付	3,421	3,115	2,459	2,060	2,147
	写真書換	1,314	1,209	1,430	1,378	1,259
	再交付	200	209	230	221	218
	本籍等書換	30	17	14	14	11
	計	4,965	4,550	4,113	3,673	3,635
消防設備士	新規交付	356	424	445	419	397
	写真書換	102	107	123	121	116
	再交付	10	16	13	17	14
	本籍等書換	3	1	1	1	3
	計	471	548	582	558	530

○ おわりに

熊本地震から1年、通常の生活を取り戻しつつありますが、本格的な復旧・復興はまだ始まったばかりです。今後とも御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

被害が大きかった阿蘇へは迂回路もありますし、南阿蘇へのルートも暫定開通しています。県内には海に山に夏場の魅力ある観光地がありますので、夏休みには御家族で是非熊本へお越しください。



年中行事と旧暦の話（その10：「地域暦」のすすめ）

○仏革命暦の話のメを…

前回（5月号）、呑み会のルールを長々と記述したために、フランス革命暦の1年間で一番美しい時期のことを語らず終いになった。今号がカバーする時期は革命暦の年末にも近く、話に一区切り付けるべきときだ。今回は、呑み会談義のうちに過ぎ去りし時節も含めて、革命暦のメをしよう。

筆者の見るところ、あの暦法は諸事情から短命に終わったが、その編成法には、わが国での住民の暮らしぶりや地域づくりを質の高いものにしていくヒントが隠されていると思う。以下の呑気なフランス紹介も、わが国各地それぞれでの暮らしぶりや地域づくりのあり方への参考にしてほしいからだということをご承知おき頂きたい。

○過ぎ去りし「花月」の美しさ

仏革命暦では、現行官暦4月下旬から5月中旬までは「フロリアル」＝「花月」（ハナツキ）で、響きがとても美しい。現行の暦でも、わが国で無味乾燥の数字だけで「5月」と呼ぶのとは違い、フランス語での呼び名はMai（発音は「メ」）でローマ時代の豊穡の女神に由来する。あの国では現行暦でも革命暦でも、呼称にふさわしい時節で、気候風土にピッタリの月の呼称を採用した人々の感性に感銘する。

「花月」の期間中で現行暦「メ」月の初日（＝わが国の5月1日）には、小さな花売りスタンドが街頭に現れる。小さな子どもたちまでがスズランの花束を持ち、道行く人々に声をかける。スズランは「聖母マリアの花」とか「幸運を運ぶ花」とか言われ、「花月」らしい季節感を醸し出してくれる。

○「花月」の楽しみ方

「花月」を楽しむには、閑人であればだが、天気のよい時を見計らって、パリならセーヌ河畔や近郊地帯をアテがなくとも散歩することだ。なにか目標が必要な人は、趣味に応じて、印象派の画家たちが描いた風景を探して歩くとか、葡萄畑や麦畑のありさまを眺めて歩けばよい。歩き疲れる頃には、手近いや脚近なカフェにブラッと立ち寄り、真っ昼間から麦酒や麦水などでノドの渴きを癒やせばよい。

明るく美しい「月」の名称とお天道様の光の御蔭で、ありきたりの町や村でも風采が上がり、地元民も余所者も心弾む。我々の国でも、お天道様の輝き方は素晴らしいのだが、月の呼び名が他の時節と同じく真に面白味に

山下 茂（やました しげる）

明治大学 公共政策大学院ガバナンス研究科 教授。
元自治省（現・総務省）消防大学校長

自治省（現・総務省）で地域政策室長・文書課長など、地方で広島市財政局長・栃木県総務部長・和歌山県副知事などのち、自治省消防大学校長に就任。さらに自治体国際化協会（CLAIR）パリ事務所長を経て、平成16年から現職。『体系比較地方自治』（平成22年・ぎょうせい）『英国の地方自治』（平成27年・第一法規）『フランスの選挙』（平成18年・第一法規）など、地方自治関係の著書・論文のほか、『〈脱ミシュラン〉フランス地域巡り』（平成29年・第一法規）などペンネーム（やまさかのぼる）でのエッセイなども多数。

欠ける。

○各地で「地域暦」をつくろう！

だから、以前（2017年3月号）にお話した「地域暦」を気候風土も異なる地域ごとに編集し、革命暦に見習って、各地域にふさわしい美しい月名を考案すると同時に、「1ヶ月」の日数や「1週間」（季節ごとの1週あたり日数、働く日と休む日の区分を含む）の設定法を工夫して、自分たちの地域の個性を輝かせ、大いにお国自慢し合いたいものだ。そうすることが、実に多様なわが国の恵まれた気候風土を活かして各地の個性と魅力を充実強化し、住民の生活の質（QoL）を高め、訪問者を増やして活性化することに繋がる。

○草の輝く「牧月」

現行暦5月下旬から夏至直前までは「プレリアル」＝邦訳「牧月」（まきづき）。「プレ」＝牧場や野原、さらに「プレリー」＝広大な草原や牧草地が美しく輝く。あの国の主たる農産物たる麦と酪農品の豊作を期待させる。わが国では、ツユに入っていく時期なのに、ひたすら明るく輝くのだから、フランスは実に羨ましい。命名の由来たる草萌える牧野は広大無辺で、そこを初夏のお天道様がいっぱい照らす。その開放感は、わが国の狭い国土で窮屈に暮らしていたら想像できない。あの国は、ナポレオンの御蔭で、今日でも一大農業国たりえている…羨ましい！

そのフランスでも、農産物は大きな平原だけで造られるのではない。中山間地域それも相当な山の上まで酪農に利用されている。初夏になると、羊飼いたちが牛や羊の群れを引き連れて山の放牧地に上がっていく。里に戻

るのは秋になってからで、山の小屋で、原産地名統制で品質保証される各地各様の「フロマージュ」（英語でいう「チーズ」）づくりに精を出す。「地域」への拘りが山地での酪農製品に高い付加価値を生む。

そういう生真面目な話に加えて、フランス人にとって特に重要なのは、いよいよヴァカンスの季節の始まりだ。全国各地でお祭りや伝統行事や新作行事のあれこれが展開される。スポーツや芸術関係の行事は、わが国でも知られているものが多い。そうした心弾む季節がある風土を享受していることは、雨が降っても降らなくても悩みが多いツユの季節の只中にある我々とは比べものにならない。

○そして麦の収穫月「メシドール」へ

現行暦6月下旬からは「メシドール」＝（麦の）「収穫月」、さすがのフランス人でも「花」よりダンゴで、主食の収穫は、ブドウのそれとともに、年間最大の重要事だ。この季節、とくにパリを取り囲む平野では、広大な麦畑が黄金色になり、フランスの国土の豊かさを誇示する。無事に収穫するためには好天が必要で、雨が多いと粉引き屋が破産するという諺もある。米作りが中心のわが国では、この時期はツユの降雨を必要とする。一方、秋には稲刈りで、好天が不可欠なのだから、風土の違いは歴然としている。

それにフランスは、わが国よりずっと北に位置するから、夏には明るい時間帯が実に長い。そういう自然条件に加えて、標準時が英国より1時間早く設定されているが、実際にはパリの経度は英国のグリニッジと3度も違わないから、せいぜい十分くらいしか差がない。そのうえに3月下旬から「夏時間」に移る。だから、わが国よりも2時間くらい早く時計が進んでいる感じなのだ。そういう「自然」と「人為」との十二分の併用が、人々の「生活の質」(QoL)を高め、訪問者の活動時間を増加させる。そんなところも、わが国各地での「地域暦」と「地域時間」編成の参考にしたい。

○そして「熱月」へ

現行暦7月下旬からは「テルミドール」つまり「熱月」だ。わが国より北に位置するフランスでも、夏の盛りは、やはり暑い。筆者が在仏した頃には、酷い猛暑になった年もあり、借りた住居には、パリでは当然ながら、冷房設備がなかったから何日も辛い目にあった。「熱月」…気候風土を正直に表すにしても、この呼称だけは何とかならないものか…と思いつつ、寝付かれない日々を過ごした。

夏はヴァカンスの季節。外国へ国内へ、海へ田園へ山へ、家族一同の日程を春先から調整して出かけていく。余暇時間はたっぷりあるが、お金はさほどかけないのだから、計画するのなかなか大変だが、たぶん計画・調整のプロセスから家族一同で楽しんでいるのだろう。

もっとも、誰でも長いヴァカンスを楽しんでいるわけでもない。筆者がパリにいた頃の公的な調査によると、4泊以上の休暇旅行に出かけた人は6割程度だった。何ら

かの事情で夏休み中に出かけられなかった子どもたちのために、あちこちで集団での話題性の高いお出かけの機会を組織する非営利社団の活動があったりする。それほどにまで、ヴァカンスは大切なことと考えられているのだ。

そんな時節、現行暦8月15日は、「聖母マリア昇天」＝正確には「被昇天」をお祝いするカトリックの祝日とされている。わが国の旧盆と同じような設定だ。秋風が感じられる頃にふさわしい行事は、洋の東西を問わないのだ。フランスの農村部では、その頃から冬が始まるという言い方もある。わが国でも北海道なら、秋冬用の燃料の備蓄を始めるために、8月末を基準日として古くは「薪炭手当」と呼ばれた手当を支給するはずだから、気象の動きは似ているのだろう。そういう「地域」性豊かな年中行事とそれを支える暦法の比較などをすれば、国際相互理解も一層深まるだろう。筆者が「地域暦」づくりをお奨めする所以の1つだ。

それにしても、わが国で一般国民に、ああしたヴァカンスが定着するのはいつのことになるのか？長年、公務員だった筆者の場合、フランス駐在になる以前は、家族連れで4泊以上の休暇旅行をしたことは、我が家族の出発点たる新婚旅行の他には皆無だった。お金のこともあるが、そんなに「長く」休暇をとることを躊躇したからだ。今の職業についてからも、3泊が最長になっている。大学だから長～い休みが年間3回もあるのに。どうも、筆者のアタマの中の邦語辞書にはフランス人の過半数が楽しんでいる普通の「休暇」という概念すら無いらしい。読者諸兄姉は如何？世代が違うはずだから、ぜひ皆さんには、ホンマの休暇を味わう質の高い暮らしをしてほしい。

○そして1年が巡り、また新年に…

わが国で旧盆が過ぎ、秋風が立つのを感じる頃、フランス革命暦では1年の終わり「フリュクティドール」＝（ブドウの）「実り月」となる。明ければ、待ちに待った新年年頭「ヴァンデミエール」＝「ブドウ収穫月」だ。

「実り月」は1年のメだから、そこで革命暦の人間本位合理主義とお天道様とのズレを調整する。革命暦は30日＝1ヶ月と定めたから、太古の昔から我が道を行き続けるお天道様との関係を同じにし続けたいなら、毎年5～6日が余る。それを年末＝実り月の最後に付加して調整していた。あの頃は、その余りを労働者の年末休暇としたらしい。

わが国ならお彼岸の頃に5～6日も休めたなんて！「地域暦」でも、そういう「合理的」な日数の1ヶ月と適当な時期の歳首を設定して、頃合いの時節に地域一斉連休としたらよい。今時のキッズなんかよりも、地域間の多様性を確保できて、休暇地の混雑も回避でき、ゆとりあるヴァカンスを実現できる。それも国際比較に立脚した「地域暦」づくりの生む大きな質的効果になるだろう。（暦の話・ズ）

トピック topic



甲種危険物取扱者になるまでの道のり

・危険物取扱者資格との出逢い

初めて私が危険物取扱者試験を受験したのは、高校1年の秋でした。

高校に入学するまで理数系科目が苦手だった私は、高校では理数系科目の苦手を克服するぞ！と、サイエンスフロンティアコースという普通科ながらも理系に特化したコースに進学しました。「ただでさえ苦手な理数系科目に特化したコースだなんて、本当に私でもついていけるのだろうか？」と大きな不安を抱きながら聞いていた朝のホームルームでの担任の先生の話の中で、ふと耳に入ってきた“危険物取扱者試験”の文字。その瞬間から“危険物取扱者資格”について興味を抱き始めました。

毎年2月には私の通っていた水戸啓明高校で危険物取扱者試験（乙種第4類・丙種）の受験が出来るという事もあり、理数系科目の苦手を克服する大きなチャンスであると感じました。その後、外部の受験会場で受験をするならば学校での受験よりも一足先に受験をする機会を得られるという事を知り、クラスの友人達よりも早い10月に危険物取扱者試験乙種第4類を受験する事を決めました。

・乙種第4類取得に向けて

乙種第4類は私にとって、初めて挑戦する国家資格でした。何から手をつければ良いのか、どうやって勉強を進めていけば良いのか。“国家資格”に挑戦するんだという事に大きな興味と、それと同じくらいの不安がありました。

私の学校では例年危険物取扱者試験対策のテキストの販売を行っていますが、私の場合、学校での受験よりも一足先の受験だった為に学校でのテキスト販売を受けることが出来ませんでした。同じものを書店で買えば良いだろう、とも思いましたが、学校で販売を行っているテキストはあいにく書店では取り扱われておらず、テキスト選びの時点で問題を抱えてしまいました。先輩がテキストを貸して下さり、何とかテキストを手に入れられたことは、とても幸運なことでした。そのテキストを繰り返し解き、すべての問題で9割を超えるように仕上げました。

鶴 恵理華 つる えりか

水戸啓明高等学校 普通科サイエンスフロンティアコース
平成28年度卒業

何度も繰り返し解いたおかげで、乙種第4類に一回で合格することが出来ました。無事免状が届き、喜び勇んで母親に見せたところ、「本籍地間違っているよ」。本籍地変更の手続きで他の乙種の受験機会を1回分無駄にしてしまったことは、最大の失敗です。

・甲種取得に向けて

いざ甲種取得を目指そうと思った時、私は危険物取扱者試験の甲種の試験を受験するには、高校生では乙種第1類若しくは第6類、第2類若しくは第4類のいずれかと、第3類、第5類の計4種類を最低限取得していなければならないという事を知りました。その為、まずは受験資格を得るために、取得していなかった第1・2・3・5・6類の取得に取り掛かりました。

とは言え、まず何類から手をつければ良いのか判ら無かった為、既に乙種全類及び甲種危険物取り扱い資格を取得していた同じコース・部活の先輩に受ける類の組み合わせについてアドバイスを頂き、高校2年生の6月前半に第3、5類、そして6月後半に第1、6類を受験し、4種類とも合格をすることが出来、晴れて甲種の受験資格を得ることが出来ました。

しかし、甲種の受験では乙1類から6類すべての類の危険物の性状に関して問われます。この時点で第2類を取得出来ていなかった私は、10月前半に第2類を取得しようと試みました。しかし、試験日が学校行事と重なってしまい、受験することが出来ませんでした。

・甲種への挑戦

乙種第2類を取得しないまま、甲種へ挑戦。この空白は、私にとって大きな不安要素でした。一方で、甲種の対策テキストは先生と先輩のお二方が貸して下さり、協力して下さっているお二方の為にも絶対に落ち

たくない、という強い気持ちも芽生えていました。とは言え、やはり甲種は甲種。乙種のようにはいきません。最初はテキストのどの問題も乙種の時のように勉強段階で9割以上取れるようにしようと意気込んでいた私でしたが、範囲の広さ、そして内容の難しさに圧倒され、練習段階でも7~8割ほどしか取れないまま、本番に挑みました。

当日は教室内にびりびりとした空気が漂っていました。いざ問題を目にしたとき私は頭が真っ白になってしまいました。「この問題は見たことがある気がする、でも分からない…。」教室から一人、また一人と他の受験者たちが途中退出をしていくたびに焦りばかりが募りました。何とか解答を終え、自分の詰めの甘さを悔いながら帰った帰り道は忘れません。

結果発表の日、「どうせ落ちている、でも何かの間違いで受かっていてくれないか。」そんな気持ちで起動したパソコンの画面に、私の番号はありませんでした。最初から受かっているとは思っていませんでしたが、それでもやはりショックは大きかったです。

翌日、不合格を告げる葉書の成績を見て、さらに悔しさがこみ上げてきました。「化学・物理知識 8割、法令 6割、消火法 5.5割」。たった1問のミスが私の合否を決めました。「次こそは…!」と粘れたのは、この成績のおかげかもしれません。

次に受験するとしたら2月。でもその受験日だと、修学旅行の1週間後で、前日には学校行事がある…。ぎりぎりまで私は修学旅行へ参加するかどうか悩みましたが、周囲からの後押しで、修学旅行に参加することに決めました。2月の沖縄、京都、USJ。当然の如く私はインフルエンザにかかり、ぎりぎりまで寝込んでしまいました。しかし、今回は2回目。しかも、もうこの機会を逃したら高校3年生になり、受験に専念しなければいけない時期。後がありませんでした。さらに、前回でさえ1問足らずだったのに、ここで不合格となれば、前回からの勉強はすべて無駄だったことになる…。大きなプレッシャーを抱えながらも、「もう不合格の文字は見たくない!」と、ぎりぎりまで粘りました。

受験当日は、押しつぶされそうなほどの緊張感に逃げ出してしまいたいときさえ思いました。しかし、ここで逃げ出したら全てが無駄になってしまう。せめて自分なりのベストを尽くそう。そう思い、周りの受験者たちが徐々に途中退席し始めても、目の前の問題に集中しました。「これで駄目ならもう無理だ。」受験後には本気でそう思いました。

合格発表の日、私は校外学習で工場見学をしていました。何を説明されても全く頭に入ってきませんでした。「落ちていたらどうしよう…。」

運命の正午。私はスマートフォンを持っていなかったの、友人の一人に借りて結果を見ました。「あ、あった…!」と喜びもつかの間、丁度100ずれている受験番号を見ていた事に気づきます。不安はさらに募る中、気を取り直して自分の番号を確認しました。ありました!画面の中に自分の受験番号が。この時の嬉しさと言ったら例えようがありません。やっと甲種から開放された、そんな気分でした。

・最後に

私が甲種危険物取扱者になる事が出来たのは、紛れもない周囲の方々の支えのおかげです。他力本願で合格出来る資格ではありませんが、頼れる人には頼るべき、というのがこれから甲種を受験する皆さんへのアドバイスです。自分ひとりで解決できない問題は、いつまでも悩んだところで変わりません。時間を無駄にする位なら、周囲の人に頼る事も重要なスキルではないかと思えます。ただ、自分一人でやったからといって合格する事の出来ない資格でもありません。現に、私の先輩は周囲に頼らずに、私と同じ時期に私よりも好成績で甲種に合格しています。やり方は人それぞれです。自分に合ったやり方を見つける事が、最も重要な事だと思えます。やればやっただけ結果がついてくる資格だと感じています。

「甲種危険物取扱者資格を持っています」と言うと、よく「その資格何に使うの?」と聞かれます。一つだけ言える事は、「過去の自分はこれだけ頑張れたんだという自信を持てることです。」

・謝辞

この資格の取得にあたり、私の事を支え、応援して下さいました方々に感謝の意を表したいと思います。特に、私の母校である水戸啓明高等学校で教師として甲種を所持している、廣瀬章訓先生、そしてサイエンスフロンティアコース、部活動の先輩であり、同じく高校在学中に甲種を取得した川崎義人さんのお二方には、試験に関しての様々なアドバイスを頂いたり、相談にのって頂いた事、本当に有難く感じております。そして、この資格の取得を後押ししてくれた家族にも、心から感謝しています。

消防庁の通知・通達等

◆危険物規制事務に関する執務資料の送付について

消防危第104号 平成29年5月18日

消防庁危険物保安室長

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あて

要旨

危険物規制事務に関する執務資料を別紙のとおり送付しますので、執務上の参考としてください。また、各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴管内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知くださいますようお願いいたします。なお、本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

（別紙）

問 浮き蓋付きの特定屋外貯蔵タンクの特別通気口について、当該通気口の通気量が日本高圧力技術協会規格G-107「固定屋根付き浮き屋根式石油類貯蔵タンクの通気装置」に示されている通気量（固定屋根と浮き屋根間に滞留する蒸気量を、内径が25m以下のタンクについては18時間以内に、内径が25mを超えるタンクについては24時間以内に元の量の25%以下に換気し得る通気量）を満足することが数値流体力学による解析等により確認できれば、「浮き蓋付特定屋外貯蔵タンクに係る技術基準の運用について」（平成24年3月28日付け消防危第88号）第2、1によらないこととしてよいか。

（答） 差し支えない。

◆平成28年中の危険物に係る事故に関する執務資料の送付について（通知）

消防危第114号 平成29年5月30日

消防庁危険物保安室長

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あて

要旨

今般、「平成28年中の危険物に係る事故の概要」及び「都道府県別の危険物に係る事故の発生状況」をそれぞれ別添1及び別添2のとおり取りまとめました。また、平成28年中の危険物に係る事故の主なポイント、指導上の留意事項等を下記のとおり取りまとめましたので、執務上の参考として下さい。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知くださいますようお願いいたします。

なお、本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

記

1 平成28年中の危険物に係る事故の主なポイント

(1) 火災事故

ア 火災事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における火災事故の発生件数に増減はなく、215件となっている。

施設別の火災事故発生件数については、一般取扱所、給油取扱所、製造所の順となっており、この3施設で全体の約91%（195件/215件）を占めている。

また、1万施設当たりの火災事故の発生件数（以下、「火災事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

イ 重大事故の発生及び被害の状況

危険物施設における火災事故215件のうち、重大事故は8件発生しており、内訳としては収束時間指標によるものが4件、影響範囲指標によるものが3件、人的評価指標によるものが1件となっている。

施設別の発生状況では、一般取扱所が最も多く5件、次いで移動タンク貯蔵所が2件、製造所が1件の順となっている。

ウ 出火の原因に関係した物質

火災事故のうち、危険物が出火原因物質となる火災事故が約51%（109件/215件）を占めている。

このうち、第4類の危険物によるものが約93%（101件/109件）を占めており、品名別にみると、第4類第1石油類が約47%（47件/101件）と最も高い割合を占めている。

エ 火災事故の発生原因及び着火原因

火災事故の発生原因では、維持管理不十分等の人的要因が約49%（105件/215件）と最も高い割合を占めている。主な着火原因では、高温表面熱が約14%（30件/215件）と最も高く、次いで静電気火花が約13%（28件/215件）の割合を占めている。

(2) 流出事故

ア 流出事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における流出事故の発生件数は11件増加しており、356件となっている。施設別の流出事故件数については、一般取扱所、給油取扱所、屋外タンク貯蔵所の順となっており、この3施設で約63%（225件/356件）を占めている。

1万施設当たりの流出事故の発生件数（以下、「流出事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、移送取扱所、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

イ 重大事故の発生及び被害の状況

危険物施設における流出事故356件のうち、重大事故は54件発生しており、内訳としては流出範囲指標によるものが43件、流出量指標によるものが14件となっており、人的評価指標によるものは0件であった。

施設別にみると、屋外タンク貯蔵所が最も多く17件、次いで一般取扱所が13件、移動タンク貯蔵所が10件の順となっている。

ウ 流出した危険物

流出事故において流出した危険物の種類は、第4類の危険物が約99%（351件/356件）を占めており、このうち第4類第2石油類が約39%（138件/351件）と最も高い割合を占めている。

エ 流出事故の発生原因

流出事故の発生原因は、物的要因が約57%（202件/356件）を占めている。このうち、腐食疲労等劣化によるものが約67%（135件/202件）を占めている。腐食疲労等劣化による流出事故が多い施設は、屋外タンク貯蔵所、一般取扱所、地下タンク貯蔵所及び給油取扱所の順となっている。

また、約33%（117件/356件）を占める人的要因のうち、操作確認不十分によるものが35%（41件/117件）を占めている。

2 対策及び指導上の留意事項

(1) 火災事故

火災事故の発生率が高く、かつ、重大事故が発生している製造所及び一般取扱所に対して、維持管理不十分や操作確認不十分等の人的要因や、高温表面熱や静電気火花による火災事故を防止するための対策を徹底することが重要であること。

また、一般取扱所において腐食疲労等劣化が原因となる事故が、近年増加傾向にあることに留意し指導されたいこと。

(2) 流出事故

流出事故の発生率が高く、かつ、重大事故が多く発生している一般取扱所及び屋外タンク貯蔵所に対して、腐食疲労等劣化や操作確認不十分による流出事故防止のための対策を徹底することが重要であること。

(3) その他

危険物に係る業界団体、消防関係機関等により策定された「平成29年度危険物等事故防止対策実施要領」に基づき、また別添1及び別添2の統計データを参考とし、都道府県別の事故発生状況や危険物施設の態様を踏まえた事故防止対策を実施していくことが必要であること。特に、平成28年中に件数や事故発生率が大きく増加したのものについては、その原因や再発防止について検討されたいこと。

※ 全文については、消防庁ホームページに掲載されておりますので参照ください。

<http://www.fdma.go.jp/>

業務報告

4月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	314	105	33.4
乙種第1類	432	267	61.8
乙種第2類	385	286	74.3
乙種第3類	423	290	68.6
乙種第4類	5,118	2,165	42.3
乙種第5類	447	341	76.3
乙種第6類	521	352	67.6
乙種計	7,326	3,701	50.5
丙種	289	172	59.5
合計	7,929	3,978	50.2

危険物取扱者試験実施支部等
秋田、東京、長野、愛知、大阪

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	0	0	0.0
甲種第1類	0	0	0.0
甲種第2類	0	0	0.0
甲種第3類	0	0	0.0
甲種第4類	0	0	0.0
甲種第5類	0	0	0.0
甲種計	0	0	0.0
乙種第1類	0	0	0.0
乙種第2類	0	0	0.0
乙種第3類	0	0	0.0
乙種第4類	0	0	0.0
乙種第5類	0	0	0.0
乙種第6類	427	143	33.5
乙種第7類	0	0	0.0
乙種計	427	143	33.5
合計	427	143	33.5

消防設備士試験実施支部等
東京

4月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	7,282	7,282	4,252	4,252	11,534	11,534
本籍等の書換え	123	123	19	19	142	142
写真書換え	7,283	7,283	655	655	7,938	7,938
再交付	970	970	63	63	1,033	1,033
計	15,658	15,658	4,989	4,989	20,647	20,647

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

5月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	708	249	35.2
乙種第1類	252	191	75.8
乙種第2類	254	194	76.4
乙種第3類	292	201	68.8
乙種第4類	6,726	2,930	43.6
乙種第5類	282	195	69.1
乙種第6類	274	183	66.8
乙種計	8,080	3,894	48.2
丙種	535	286	53.5
合計	9,323	4,429	47.5

□危険物取扱者試験実施支部等

北海道、秋田、埼玉、東京、石川、岐阜、滋賀、京都、兵庫、奈良、佐賀

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	7	2	28.6
甲種第1類	313	113	36.1
甲種第2類	14	2	14.3
甲種第3類	16	6	37.5
甲種第4類	685	274	40.0
甲種第5類	22	5	22.7
甲種計	1,057	402	38.0
乙種第1類	7	1	14.3
乙種第2類	0	0	0.0
乙種第3類	1	1	100.0
乙種第4類	342	151	44.2
乙種第5類	3	2	66.7
乙種第6類	45	18	40.0
乙種第7類	203	130	64.0
乙種計	601	303	50.4
合計	1,658	705	42.5

□消防設備士試験実施支部等

山形、東京

5月中の免状作成状況

(単位：件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	4,413	11,695	1,628	5,880	6,041	17,575
本籍等の書換え	179	302	20	39	199	341
写真書換え	8,322	15,605	599	1,254	8,921	16,859
再交付	949	1,919	68	131	1,017	2,050
計	13,863	29,521	2,315	7,304	16,178	36,825

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

危険物取扱者試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）

支部名	試験日		受付期間				甲種	乙種						丙種							
			電子申請		書面申請			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類								
	月 日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日															
北海道	9月24日	日	8月18日	8月25日	8月21日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	10月29日		9月16日	9月23日	9月19日	9月26日															
青森	9月2日	土	9月24日	7月23日	8月1日	7月26日	8月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種						
	9月3日	日																			
	11月4日	土																			
	11月5日	日																			
	11月11日	土																			
	11月12日	日																			
岩手	10月14日	土	8月18日	8月26日	8月21日	8月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	10月21日		8月21日	8月29日																	
宮城	9月10日	日	7月24日	8月1日	7月27日	8月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
秋田	10月8日	日	8月21日	9月2日	8月24日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
山形	10月7日	土	8月18日	8月27日	8月21日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	10月14日		8月25日	9月3日	8月28日	9月6日															
	10月28日		9月8日	9月17日	9月11日	9月20日															
	11月11日		9月22日	10月1日	9月25日	10月4日															
福島	10月14日	土	8月20日	8月29日	8月23日	9月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	10月28日		9月3日	9月12日	9月6日	9月15日															
	11月11日		9月10日	9月19日	9月13日	9月22日															
茨城	9月30日	土	7月25日	8月6日	7月28日	8月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	10月15日	日	8月22日	9月3日	8月25日	9月6日															
栃木	11月12日	日	9月8日	9月19日	9月11日	9月22日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
群馬	11月19日	日	9月25日	10月8日	9月28日	10月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
埼玉	9月24日	日	8月20日	9月1日	8月23日	9月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
千葉	11月12日	日	9月4日	9月29日	9月7日	10月2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	11月19日			10月13日		10月16日															
	11月26日			10月20日		10月23日															
東京	9月26日	火	7月24日	8月4日	7月27日	8月7日	-	-	-	乙4	-	-	-								
	10月1日	日	7月28日	8月7日	7月31日	8月10日															
	10月4日	水	8月7日	8月18日	8月10日	8月21日															
	10月9日	月																			
	10月15日	日	8月14日	8月25日	8月17日	8月28日															
	10月21日	土	8月21日	9月1日	8月24日	9月4日								-	乙1	乙2	乙3	-	乙5	乙6	丙種
	10月28日	土	8月28日	9月8日	8月31日	9月11日								-	-	-	乙4	-	-	-	
	11月2日	木																			
	11月7日	火																			
	11月18日	土	9月11日	9月22日	9月14日	9月25日								甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月23日	木	9月18日	9月29日	9月21日	10月2日															
11月26日	日	9月25日	10月3日	9月28日	10月6日																
11月26日	日	9月25日	10月3日	9月28日	10月6日																
神奈川	10月9日	月	8月11日	9月1日	8月14日	9月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
富山	10月14日	土	8月27日	9月5日	8月30日	9月8日	甲種	乙1	乙2	乙3	-	乙5	乙6	丙種							
	10月15日	日					-	-	-	-	乙4	-	-	-							
	10月21日	土					甲種	乙1	乙2	乙3	-	乙5	乙6	丙種							
	10月22日	日					-	-	-	-	乙4	-	-	-							
	10月29日	日					甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
福井	10月22日	日	9月4日	9月11日	9月7日	9月14日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	10月29日		9月11日	9月7日	9月14日																
山梨	10月22日	日	9月3日	9月10日	9月6日	9月13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	10月28日	土																			
長野	10月1日	日	8月14日	8月25日	8月17日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	10月15日																				
	10月22日																				
	10月29日																				
静岡	11月5日	日	8月25日	9月4日	8月28日	9月7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	11月12日																				
愛知	10月8日	日	9月1日	9月10日	9月4日	9月13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種							
	10月22日																				
三重	11月11日	土	9月10日	9月22日	9月13日	9月25日	-	-	-	-	乙4	-	-	丙種							
	11月18日						甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6								
	11月19日						日														

滋賀	10月8日	日	8月13日	8月25日	8月16日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
京都	10月29日 11月5日	日	8月22日	9月1日	8月25日	9月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
大阪	10月8日	日	8月27日	9月3日	8月30日	9月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
兵庫	10月1日	日	8月6日	8月18日	8月9日	8月21日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
和歌山	10月22日	日	8月19日	8月28日	8月22日	8月31日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
鳥取	10月22日	日	9月1日	9月16日	9月4日	9月19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
島根	11月5日 11月12日	日	8月26日	9月9日	8月29日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岡山	11月26日	日	9月22日	10月1日	9月25日	10月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
広島	11月12日 11月26日 12月17日	日	9月16日 9月30日	9月26日 10月10日	9月19日 10月3日	9月29日 10月13日	甲種 -	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山口	11月19日	日	9月3日	9月17日	9月6日	9月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
香川	10月8日 10月9日	日 月	8月25日	9月3日	8月28日	9月6日	- 甲種	-	-	-	乙4	-	-	-
愛媛	10月29日	日	8月29日	9月8日	9月1日	9月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
高知	10月29日 11月5日	日	9月8日	9月19日	9月11日	9月22日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
福岡	10月28日 10月29日	土 日	8月25日	9月8日	8月28日	9月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
佐賀	11月26日	日	9月22日	10月3日	9月25日	10月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
長崎	11月23日	木	9月8日	9月19日	9月11日	9月22日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
熊本	11月19日	日	9月9日	9月17日	9月12日	9月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
大分	11月26日	日	9月17日	9月30日	9月20日	10月3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
宮崎	11月19日	日	9月4日	9月19日	9月7日	9月22日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
鹿児島	11月18日	土	9月26日	10月8日	9月29日	10月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種

消防設備士試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）																				
支部名	試験日		受付期間				甲種					乙種								
			電子申請		書面申請		特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	
	月	日	曜日	開始日	締切日	開始日														締切日
北海道	10月29日	日	9月16日	9月23日	9月19日	9月26日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
宮城	10月7日	土	8月21日	8月29日	8月24日	9月1日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
秋田	11月5日	日	9月17日	9月29日	9月20日	10月2日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
山形	9月2日	土	7月21日	7月30日	7月24日	8月2日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
東京	9月24日	日	7月24日	8月4日	7月27日	8月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	乙4	-	-	乙7	
	9月30日	土	7月28日	8月7日	7月31日	8月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	乙6	-	
	10月14日	土	8月14日	8月25日	8月17日	8月28日	特類	-	甲2	甲3	-	甲5	-	-	-	-	-	-	-	
	10月22日	日	8月21日	9月1日	8月24日	9月4日	-	-	-	-	-	乙1	乙2	乙3	-	-	乙5	-	-	
	11月11日	土	9月4日	9月12日	9月7日	9月15日	-	-	-	甲4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	11月12日	日	9月11日	9月22日	9月14日	9月25日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	乙6	-
	11月19日	日	9月11日	9月22日	9月14日	9月25日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11月25日	土	9月25日	10月3日	9月28日	10月6日	-	甲1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟	10月15日	日	8月27日	9月10日	8月30日	9月13日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
石川	11月5日	日	9月1日	9月10日	9月4日	9月13日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
兵庫	11月11日	土	9月3日	9月16日	9月6日	9月19日	-	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
奈良	9月24日	日	8月5日	8月13日	8月8日	8月16日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
鳥取	11月19日	日	9月29日	10月13日	10月2日	10月16日	-	甲1	-	-	甲4	-	乙1	-	-	乙4	-	乙6	乙7	
沖縄	10月29日	日	9月19日	9月26日	9月22日	9月29日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	

Voice...

編集後記

2017 July

当センターの役員交代が6月下旬に行われました。
北村理事長と檜垣監事が退任し、田口常務理事が理事長に就任するとともに、新たに須貝監事が就任しました。新理事長の下、センターのさらなる新たな発展に向かって役職員一同、力を結集し対応して参ります。

これからの本格的な夏の到来に併せ、海に山にとアウトドアを楽しみにされている方も多いのではないのでしょうか。くれぐれも身の安全を確保しつつ、健康で楽しい夏を満喫されることをお祈りしています。

都道府県
後援・消防庁

これからも、
輝き続けるために。

免状更新は 10年ごとに

危険物
取扱者



高橋礼華

消防
設備士



松友美佐紀

写真の書換え期限が10年を経過している方は
速やかに更新手続きを行ってください。

制作: (一財)消防試験研究センター <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>



消防試験研究センターだより

Voice...

vol.361 平成29年7月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9279(企画研究部) / FAX.03(5511)2751

ホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

モバイルサイト <http://www.shoubo-shiken.or.jp/m/>